

令和 5 年度

事業報告

公益社団法人日本歯科衛生士会

令和 5 年度事業報告（案）

（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

法人の概況

1 設立年月日

昭和 26 年 10 月 27 日（設立）

昭和 41 年 5 月 23 日（社団法人認可）

平成 24 年 4 月 1 日（公益社団法人移行）

2 定款に定める目的

本会は、都道府県歯科衛生士会との連携のもと、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚並びに歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を推進し、あわせて歯科衛生の普及啓発を図ることにより、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関すること
- (2) 日本歯科衛生学会の開催等学術研究の振興に関すること
- (3) 歯科衛生の普及啓発に関すること
- (4) 歯科衛生業務の改善及び向上に関すること
- (5) 歯科衛生の国際協力に関すること
- (6) 都道府県歯科衛生士会等、関係団体との連携協力に関すること
- (7) その他本会の目的達成のために必要なこと

4 行政庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

5 会員の状況

参考資料 1 に記載のとおり

6 事務所の所在地

東京都新宿区大久保二丁目 11 番 19 号

7 役員等に関する状況

参考資料 2、参考資料 3 に記載のとおり

8 職員に関する事項

参考資料 2 に記載のとおり

事業

I 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚ならびに学術研究の振興により、歯科衛生士の人材育成を図り、国民の健康と福祉に寄与する事業（公1）

1 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関する事業

(1) 生涯研修事業

歯科医学・医療の進歩や歯科保健医療ニーズの変化にともなう知識・技能の習得及び医療安全等の最新情報に関する生涯研修事業の企画・運営・推進により、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚を図るとともに、特定の専門分野において水準の高い歯科衛生士を育成し、認定することにより、歯科衛生業務の実践・指導力を高め、国民の健康と福祉の増進に寄与する。

① 専門研修の企画・運営・推進

ア 基本研修

47 都道府県歯科衛生士会において、専門研修（基本研修）が 690 回開催され、21,234 名（会員 18,738 名、会員外 2,496 名）が受講した。

・内訳

A 臨床研修コース

a 歯周治療の基本技術	138 回	3,746 名
b 摂食嚥下機能療法の基本技術	96 回	3,192 名

B リフレッシュコース（a～n, z）	266 回	8,115 名
---------------------	-------	---------

C 特定コース

a 歯科診療所等における医療安全管理対策	34 回	1,011 名
b 周術期等の口腔機能管理	34 回	1,271 名
c 在宅歯科医療の基礎	122 回	3,899 名

D 都道府県歯科衛生士会への研修支援（32 都道府県会）	52 回	1,035 名
------------------------------	------	---------

E DH-KEN 都道府県別登録者数		3,157 名
--------------------	--	---------

（参考資料 4）

【第 26 回感染症予防歯科衛生士講習会の開催】

日本歯科医師会・日本歯科衛生士会共催

A 日程	<p>オンライン研修（ライブ配信） 期 日 令和 5 年 7 月 30 日（日） 協 力 一般社団法人岩手県歯科衛生士会 受講料 無料 事前登録者 297 名（内訳 会員 240 名、会員外 57 名） 修了者 291 名（内訳 会員 235 名、会員外 56 名） 傍聴者 3 名（内訳 歯科医師 2 名、歯科助手 1 名）</p>
B 日程	<p>オンライン研修（録画配信） 期 日 令和 5 年 9 月 3 日（日） 協 力 宮崎県歯科衛生士会 受講料 無料 事前登録者 203 名（内訳 会員 155 名、会員外 48 名） 修了者 183 名（内訳 会員 141 名、会員外 42 名）</p>

研修内容	
「新型コロナの始末とこれから」	
住友商事診療所 所長	
一般社団法人感染防止教育センター 理事	森澤 雄司
「院内の感染予防管理」	
大阪大学歯学部附属病院 口腔総合診療部 副部長・准教授	野崎 剛徳
「できることから始める院内感染予防ー医療安全とチームの視点からー」	
赤坂見附磯谷歯科 院長	磯谷 一宏

イ 特別研修

- ・第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会「第 15 回歯科衛生士研究会」の開催

期 日	令和 5 年 11 月 11 日 (土)
会 場	大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) (大阪府大阪市)
主 催 共 催	公益社団法人日本口腔外科学会 公益社団法人日本歯科衛生士会
受 講 料	事前参加登録 3,000 円、当日参加登録 5,000 円
参 加 者 数	参加者数 141 名 (会員 88 名 会員外 53 名)
実施内容	会員発表 7 題 【特別講演】 『がん治療に伴う口腔粘膜炎への歯科的対応について～歯科衛生士に必要な対応～』 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康支援口腔保健衛生学 教授 樺沢 勇司

上記の他、本会が主催・共催する特別研修には「日本歯科衛生学会学術大会」への参加、発表及び「日本歯科衛生学会雑誌」への論文投稿等による学習を対象としている。第 18 回学術大会の参加登録者、発表者、学会雑誌 (Vol. 18 No. 1、No. 2) 論文投稿者の合計は、1,284 名であった。

- ・その他特別研修の指定

その他特別研修として、関連学会、関係団体等の申請に基づき 7 項目を指定した。

その他特別研修による自己申請者 204 名 (参考資料 5)

ウ 指定研修

指定研修課程の修了者による自己申請者	13 名
(内訳)	
4 年制大学課程卒業	3 名
大学院 (修士・博士) 課程修了	3 名
専攻科及び病院等の臨床研修課程修了	7 名

エ 専門研修修了者数 (令和 5 年 12 月 31 日現在)

- ・基本研修 601 名
 - ・特別研修 95 名
 - ・指定研修 13 名
- 合計 709 名

(参考資料 6)

② 認定研修 (認定歯科衛生士セミナー)

【日本歯科衛生士会主催】

認定研修 (認定歯科衛生士セミナー) の実施

ア 生活習慣病予防（特定保健指導－食生活改善指導担当者研修）

主 催 日本歯科衛生士会	
開催期日	
オンデマンド配信	令和 5 年 9 月 1 日（金）～10 月 18 日（水）
ライブ配信	令和 5 年 10 月 21 日（土）
認定テスト	令和 5 年 10 月 21 日（土）
受講者 41 名、修了者 39 名	
研修内容	
オンデマンド配信	
「健康づくり施策概論」	
健康なまちづくり支援ネットワーク	岩永 俊博
「生活指導およびメンタルヘルスケア」	
横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長	山本 晴義
昭和大学ストレスマネジメント研究所 所長・教授	中尾 睦宏
国際医療福祉大学医学部教授・山王病院心療内科部長	村上 正人
「栄養指導」	
株式会社日本創生 管理栄養士	今井 愛
「健康教育」	
十文字学園女子大学人間生活学部人間福祉学科 教授	吉田 亨
ライオン株式会社人材開発センター健康サポート室 保健師	川本 和江
鶴見大学歯学部 名誉教授	花田 信弘
宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科 教授	埴岡 隆
神戸常盤大学保健科学部口腔保健学科 教授	江崎ひろみ
「身体活動・運動の基礎科学」	
立命館大学スポーツ健康科学部 教授	村上 晴香
ライブ配信	
「研究討議 メタボリックシンドローム関連」	
神奈川県立保健福祉大学 人間総合科・保健福祉学研究科 准教授	城川 美佳

イ 摂食嚥下リハビリテーション

主 催 日本歯科衛生士会	
開催期日	
オンデマンド配信	令和 5 年 9 月 1 日（金）～11 月 4 日（土）
集合型研修	令和 5 年 11 月 3 日（金・祝）
認定テスト	令和 5 年 11 月 5 日（日）
受講者 40 名、修了者 40 名	
令和 4 年度受講者で、今年度認定テストを受験し、修了 1 名	
研修内容	
オンデマンド配信	
「リハビリテーション総論」	
国立長寿医療研究センター リハビリテーション科 部長	加賀谷 斉
「摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解」	
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長	菊谷 武
「摂食嚥下機能のメカニズム（解剖）」	
東京歯科大学解剖学講座 教授	阿部 伸一
「摂食嚥下機能のメカニズム（生理）」	
新潟大学大学院医歯学総合研究科	
摂食嚥下リハビリテーション学分野 准教授	辻村 恭憲
「咬合および咀嚼機能の評価と管理」	
昭和大学歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理部門 主任教授	古屋 純一
「栄養管理」	
東京医療保健大学医療保健学部医療栄養学科 教授	小城 明子
「リスクマネジメント・全身管理」	

東京医科歯科大学 名誉教授 「リスクマネジメント・呼吸管理と肺理学、経鼻吸引」	深山 治久
藤田医科大学ばんだね病院 看護部長室 看護副部長 摂食嚥下障害認定看護師	三鬼 達人
「病態別摂食嚥下障害（小児の摂食嚥下障害）」	
昭和大学 名誉教授	向井 美恵
「病態別摂食嚥下障害（頭頸部がん等の摂食嚥下障害）」	
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長	菊谷 武
「病態別摂食嚥下障害（中途障害の摂食嚥下障害）」	
国立国際医療センター病院 リハビリテーション科 医長	藤谷 順子
「摂食嚥下の評価」	
医療法人徳洲会館山病院 口腔機能リハビリテーションセンター長	高橋 浩二
「食事外部観察評価」	
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 医長	高橋 賢晃
「摂食嚥下訓練」	
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	水上 美樹
昭和大学歯科病院 歯科衛生室	柴田 由美
〃	木村 有子
「歯科衛生ケアプロセス（歯科衛生過程）」	
宮城高等歯科衛生士学院 教務主任	佐藤 陽子
集合型研修	
「リスクマネジメント・経鼻吸引」	
藤田医科大学ばんだね病院 看護部長室 看護副部長 摂食嚥下障害認定看護師	三鬼 達人
「摂食嚥下訓練」	
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	水上 美樹
〃	田中 祐子
昭和大学歯科病院 歯科衛生室	柴田 由美
〃	木村 有子
「歯科衛生ケアプロセス（歯科衛生過程）」	
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	水上 美樹
〃	田中 祐子
宮城高等歯科衛生士学院 教務主任	佐藤 陽子

ウ 在宅療養指導・口腔機能管理

主 催 日本歯科衛生士会	
開催期日	
オンデマンド配信	令和 5 年 9 月 1 日（金）～10 月 14 日（土）
集合型研修	令和 5 年 10 月 8 日（日）、9 日（月・祝）
認定テスト	令和 5 年 10 月 15 日（日）
受講者	44 名、修了者 44 名
	令和 4 年度受講者で、今年度認定テストを受験し、修了 2 名
研修内容	
オンデマンド配信	
「医療と介護の連携」	
厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐	大坪 真実
「在宅医療の現状」	
医療法人おひさま会 おひさまクリニック湘南 院長	柳田 毅
「在宅医療に関わる全身疾患と口腔機能」	
昭和大学歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理部門 主任教授	古屋 純一
「多職種連携について」	
佛教大学保健医療技術学部看護学科 在宅看護学 准教授	清水奈穂美
株式会社ウィズ 大阪西営業所 居宅介護支援事業所 管理者	松下 敬子
「口腔機能管理の実際」	

医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック 歯科診療部 「栄養管理・栄養支援」	若杉 葉子
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 管理栄養士 「終末期への対応」	尾関麻衣子
医療法人永寿会 陵北病院 副院長 「在宅医療に関わる医療機器の取り扱い」	阪口 英夫
すこやか在宅クリニック 看護師 「口腔機能管理と実践例」	廣井 覚美
なにわ歯科衛生専門学校 昭和大学歯科病院 三ノ輪口腔ケアセンター	金子 信子 小田 奈央 清水けふ子
集合型研修 「口腔機能管理の実践例のディスカッション」	
なにわ歯科衛生専門学校 昭和大学歯科病院 三ノ輪口腔ケアセンター	金子 信子 小田 奈央 清水けふ子
「在宅支援と歯科衛生士の介入」 医療法人永寿会 陵北病院 副院長 ヒューマンデンタルクリニック 院長	阪口 英夫 飯田 良平

エ 糖尿病予防指導

主 催 日本歯科衛生士会 協力教育機関 徳島大学歯学部 開催期日 オンデマンド配信 令和5年9月11日(月)～11月18日(土) ライブ配信 令和5年9月10日(日)、11月12日(日) 認定テスト 令和5年11月19日(日) 受講者 43名、修了者 43名	
研修内容 オンデマンド配信 「ペリオドンタル・メディスン」 徳島大学大学院 口腔保健支援学 教授 「糖尿病の基礎知識、糖尿病臨床の実際」 にしだわたる糖尿病内科 院長 「国民健康の疫学」 「歯科衛生士による保健指導」 徳島大学大学院 口腔機能管理学分野 教授 「糖尿病と歯周病の関連性」 徳島大学大学院 歯周歯内治療学 教授 「学校保健と糖尿病予防」 徳島大学大学院 口腔保健衛生学 教授 「地域歯科医療における糖尿病予防」 徳島県歯科医師会 常務理事 「糖尿病予防の指導と管理」 公益社団法人徳島県栄養士会 会長 徳島県鳴門病院 医療技術局次長 徳島県歯科衛生士会 歯科衛生士 「糖尿病予防の指導と管理」 川島病院 歯科衛生室 徳島県阿南医療センター2病棟 看護師 「糖尿病療養管理の視点を予防に役立てる」 川島病院栄養管理室 管理栄養士 川島病院看護部 看護師 ライブ配信 「アイズブレイク」	尾崎 和美 西田 互 松山 美和 湯本 浩通 日野出大輔 下村 学 松村 晃子 出口 憲市 山口由美子 高石 和子 中野美恵子 松浦 香織 戸田 己記

「糖尿病とその予防で学習したいこと」 「成人歯科健康診査 生活歯援プログラム」 「シナリオに対する口腔保健指導プラン作成」 徳島大学大学院 口腔機能管理学分野 教授 松山 美和 「教育講演」 九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学分野 教授 西村 英紀

オ 医科歯科連携・口腔機能管理

主 催 日本歯科衛生士会 委託教育機関 東京歯科大学 開催期日 前期 オンデマンド配信 令和5年7月1日(土)～7月29日(土) ライブ配信 令和5年7月30日(日) 後期 令和5年7月31日(月)、8月7日(月)、21日(月)、28日(月) 東京歯科大学市川総合病院で見学・実習 1日間 4回にわけ、各班5名ずつ実施 認定テスト 後期日程 受講者 21名、修了者 21名
開催内容 前期 オンデマンド配信 「がん患者の周術期管理～外科の立場から～」 東京歯科大学 副学長 東京歯科大学市川総合病院 外科学講座 教授 松井 淳一 「病院における口腔機能管理に必要な基本的知識」 東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座 教授 松浦 信幸 「脳卒中患者の口腔機能管理」 東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科 教授 片山 正輝 「周術期口腔機能管理の制度(保険点数)」 東京歯科大学短期大学 学長 鳥山 佳則 「緩和ケア～認定看護師の立場から～」 東京歯科大学市川総合病院 看護部 緩和ケア認定看護師 並木瑠理江 「化学療法と有害事象～薬剤師の立場から～」 東京歯科大学市川総合病院 臨床薬学科・薬剤部 教授 門田 佳子 「放射線療法と有害事象」 東京歯科大学市川総合病院 放射線科 助教 堤 由希 「臨床研究の進め方」 東京歯科大学短期大学歯科衛生学科 教授 安松 啓子 ライブ配信 「グループワーク(症例検討)」 東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座 教授 松浦 信幸 東京歯科大学市川総合病院 非常勤講師 吉田 佳史 「周術期口腔機能管理～歯科衛生士の立場から～」 東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科 教授 菅野 亜紀 東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科 講師 中田 悠 東京歯科大学市川総合病院コ・デンタル部 主任歯科衛生士 大屋 朋子 後期 「歯科・口腔外科外来での周術期口腔機能管理見学」 「口腔がんセンターでの周術期口腔機能管理見学」 「栄養サポートチーム(NST)回診見学」 「病棟での口腔管理見学」 東京歯科大学市川総合病院 コ・デンタル部 歯科衛生士 「シミュレータを用いた吸引実習」

「シミュレータを用いた呼吸音聴診実習」	
「シミュレータを用いた挿管患者における口腔衛生管理」	
東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科 教授	菅野 亜紀
東京歯科大学市川総合病院コ・デンタル部 主任歯科衛生士	大屋 朋子

カ 歯科医療安全管理

主 催	日本歯科衛生士会	
委託教育機関	広島大学歯学部	
開催期日		
オンデマンド配信	令和 5 年 8 月 5 日 (土) ~ 9 月 3 日 (日)	
ライブ配信	令和 5 年 8 月 26 日 (土)、27 日 (日)	
認定テスト	令和 5 年 8 月 27 日 (日)	
受講者	35 名、修了者	35 名
研修内容		
オンデマンド配信		
「感染予防対策総論」	広島大学 名誉教授	
	下松デンタルアカデミー専門学校 学校長	栗原 英見
「歯科医療における標準予防策の具体的方法」		
「歯科医療の環境整備・医療廃棄物の取扱い」		
「口腔外科手術時の医療安全対策」		
「歯科衛生士のリスクマネジメントプロセス」	広島大学大学院医系科学研究科公衆口腔保健学 教授	太田 耕司
「歯科医療器具の洗浄、消毒、滅菌の総論」	広島大学大学院医系科学研究科口腔保健管理学 助教	仁井谷善恵
「病院、歯科診療所での感染予防対策の実際」		
「標準感染予防策の実際」	広島大学病院診療支援部管理室/歯科部門 歯科部門長	中岡美由紀
「院内感染対策で重要な微生物」	広島大学大学院医系科学研究科細菌学 教授	小松澤 均
「COVID-19 の基礎知識と感染予防対策について」	広島大学病院歯系総合診療科 感染症科 教授	大毛 宏喜
「医療安全対策総論」		
「レジリエンス・エンジニアリングと医療安全」	広島大学病院歯系総合診療科 口腔総合診療科 教授	河口 浩之
「医薬品、医療機器の安全管理方法」		
「歯科衛生士が起こしやすいインシデントの対応予防策」	広島大学大学院医系科学研究科 歯周病態学 教授	水野 智仁
「周術期口腔ケア、訪問診療の医療安全対策」	広島大学病院歯系総合診療科 口腔総合診療科 診療講師	西 裕美
「医療情報、個人情報管理と実際」	県立広島病院 歯科・口腔外科 主任部長	神田 拓
「歯科で起こりやすい患者急変時の対応と予防策」	広島大学大学院医系科学研究科 歯科麻酔学 助教	清水 慶隆
ライブ配信		
オンラインワークショップ		
「臨床現場における医療安全（感染含）対策」		
「感染防止対策」		
「事例から学ぶ医療安全対策」	広島大学大学院医系科学研究科公衆口腔保健学 教授	太田 耕司
	広島大学病院歯系総合診療科 口腔総合診療科 教授	河口 浩之
	広島大学大学院医系科学研究科 歯周病態学 講座 教授	水野 智仁
	広島大学病院診療支援部管理室/歯科部門 歯科部門長	中岡美由紀
	広島大学大学院医系科学研究科口腔保健管理学 助教	仁井谷善恵

③ 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業

厚生労働省補助・日本歯科衛生士会主催

ア「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」オンライン方式での実施

開催回	開催日	実施本部	受講者数
第1回	令和5年8月5日(土)6日(日)	日本歯科衛生士会	22名
第2回	令和5年9月2日(土)3日(日)	日本歯科衛生士会	22名
第3回	令和5年11月25日(土)26日(日)	日本歯科衛生士会	22名
第4回	令和5年12月9日(土)10日(日)	日本歯科衛生士会	20名

プログラム

事前研修

- ・ショートエッセイ
- ・動画視聴
 - ①カリキュラムプランニング（カリキュラムとは、目標編・方略編・評価編）
 - ②雇用形態等の労働法規の仕組みについて
 - ③組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方

講習会内容

[1日目]

S-I	講習会の進め方・WSとは
S-II	歯科保健医療の動向と歯科衛生士を取り巻く環境の変化
S-III	歯科衛生士の復職支援・離職防止等の推進に関する共通ガイドラインの理解 (アイスブレイクを兼ねてクイズ形式で実施)
S-IV	歯科衛生士の就業先(診療所)での問題点の抽出
S-V	研修カリキュラムのプランニング (①研修目標 ②研修方略 ③研修評価 事前研修復習含む改善検討)

[2日目]

S-VI	歯科医療従事者のスタッフトラブルを考える
S-VII	組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方
S-VIII	問題解決・問題点への対応「研修指導者・臨床実地指導者の役割」
S-IX	地域で役立つために
S-X	本講習会を振り返って、まとめ、質疑応答

タスクフォース・講師等

(タスクフォース)

東京医科歯科大学名誉教授／日本歯科大学生命歯学部客員教授	俣木 志朗
日本大学 特任教授	葛西 一貴
東京歯科大学 社会歯科学講座教授	平田創一郎
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻 環境社会医歯学講座 歯学教育システム評価学分野教授	鶴田 潤

(講師)

厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐	大坪 真実
日本歯科大学附属病院 准教授	大澤 銀子
産業能率大学 経営学部教授	宮内ミナミ
フェニックス社労士事務所 所長	峯岸 陽子

(日本歯科衛生士会企画運営委員)

神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科	上原 弘美
日本歯科大学東京短期大学	小森 朋栄
大阪歯科大学歯科衛生士研修センター	高田橋美幸
広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫学	西村 瑠美
日本福祉大学大学院福祉社会開発研究科社会福祉学専攻博士課程	大川 直美
全国歯科衛生士教育協議会 教育問題担当理事	
愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター	高阪 利美
徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健支援学分野	藤原奈津美
神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科	宮澤 絢子
大阪歯科大学附属病院	今井美季子

イ「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修等事業」運営協議会の開催
委員長 須田 英明（東京医科歯科大学名誉教授、東京医薬看護専門学校 学校長
日本医歯薬専門学校 学校長）

委員 俣木 志朗（東京医科歯科大学 名誉教授
日本歯科大学生命歯学部 客員教授）
寺島多実子（日本歯科医師会 常務理事）
内藤真理子（広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター 副センター長
広島大学歯学部口腔健康科学科口腔保健学 学科長）
稲垣 幸司（愛知学院大学短期大学部 教授
愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター所長）
高阪 利美（全国歯科衛生士教育協議会 教育問題担当理事
愛知学院大学短期大学部 特任教授
愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター副所長）
馬場 篤子（福岡医療短期大学歯科衛生士研修支援センター長）

オブザーバー委員

品田佳世子（東京医科歯科大学病院 総合教育研修センター
歯科衛生士総合研修部門 部門長
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 教授）
山本 一世（大阪歯科大学歯科衛生士研修センター センター長
大阪歯科大学歯学部 主任教授）

オブザーバー

大坪 真実（厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐）
倉本 絹美（厚生労働省医政局歯科保健課 主査）
大沼 由季（厚生労働省医政局歯科保健課）

開催日 ・第1回開催日時：令和5年10月31日（火）
・第2回開催日時：令和6年2月29日（木）

④ 認定歯科衛生士の認定・登録・更新

ア 特定する認定分野

認定分野A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）
	摂食嚥下リハビリテーション
	在宅療養指導・口腔機能管理
	糖尿病予防指導
	医科歯科連携・口腔機能管理
認定分野B （専門学会との連携 による認定）	歯科医療安全管理
	障害者歯科（専門審査機関：日本障害者歯科学会）
	老年歯科（専門審査機関：日本老年歯科医学会）
	地域歯科保健（専門審査機関：日本口腔衛生学会）
	口腔保健管理（専門審査機関：日本口腔衛生学会）
認定分野C	う蝕予防管理（専門審査機関：日本歯科保存学会）
	研修指導者・臨床実地指導者

イ 認定審査

認定歯科衛生士審査会（2回開催）

令和5年12月3日（認定分野B）障害者歯科

令和6年1月27日（認定分野A）生活習慣病予防、摂食嚥下リハビリテーション、在宅療養指導・口腔機能管理、糖尿病予防指導、医科歯科連携・口腔機能管理、歯科医療安全管理

（認定分野B）老年歯科、地域歯科保健、口腔保健管理、う蝕予防管理

ウ 認定登録、認定証交付

認 定 分 野		認定登録者	備 考
認定分野 A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	38 名	
	摂食嚥下リハビリテーション	37 名	
	在宅療養指導・口腔機能管理	44 名	
	糖尿病予防指導	43 名	
	医科歯科連携・口腔機能管理	21 名	
	歯科医療安全管理	34 名	
認定分野 B	障害者歯科	25 名	
	老年歯科	4 名	
	地域歯科保健	1 名	
	口腔保健管理	2 名	
	う蝕予防管理	55 名	
認定分野 C	研修指導者・臨床実地指導者	23 名	
合 計		327 名	

(参考資料 7)

エ 認定更新、認定証交付

認 定 分 野		認定更新者数	備 考
認定分野 A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	31 名	
	摂食嚥下リハビリテーション	58 名	
	在宅療養指導・口腔機能管理	119 名	
	糖尿病予防指導	26 名	
	医科歯科連携・口腔機能管理	15 名	
	認定分野 B	障害者歯科	108 名
認定分野 B	老年歯科	8 名	
	地域歯科保健	1 名	
	口腔保健管理	3 名	
	合 計	369 名	

⑤ その他生涯研修に関すること

(2) 地域歯科衛生活動の指導者育成

少子高齢化の進展や疾病構造の変化に伴う歯科保健医療ニーズの変化に応じ、効果的な歯科衛生活動を実践するため、厚生労働行政および保健医療福祉の動向に対応した知識・技術の習得を図るとともに、地域歯科衛生活動の指導者育成に寄与する。

① 歯科衛生推進フォーラムの開催

開 催 日	令和 6 年 2 月 12 日 (月・休)
会 場	ステーションコンファレンス東京 503
参 加 費	無料
参 加 者	145 名 (内訳 都道府県歯科衛生士会 93 名、自由参加者 18 名、関係者 29 名、報道 5 名)
実施内容	【講演】 歯科保健医療の動向 厚生労働省保険局医療課 歯科医療管理官 小嶺 祐子 【発表】 歯科衛生士の現場から歯科衛生士の専門性を考える

① 病院に勤務する歯科衛生士の専門性を考える	病院委員会	委員	大屋 朋子
② 診療所勤務の歯科衛生士として	診療所委員会	委員長	武藤 智美
③ 行政歯科衛生士に求められるスキルとは	地域歯科保健委員会	委員長	長 優子
④ 在宅療養者の口腔健康管理	在宅・施設口腔健康管理委員会	委員長	村西加寿美
⑤ 臨床・臨地実習の現在	教育養成委員会	委員	鈴木 瞳
⑥ 今後の日本歯科衛生学会での取り組みについて	日本歯科衛生学会	学会長	吉田 幸恵

② 令和4年度地域歯科保健活動状況調査

全国47都道府県歯科衛生士会における令和4年度の地域歯科保健活動実施状況は、乳幼児、学童、成人、高齢者、要介護者、障害者等に対し9項目の事業を実施し、実施回数49,111回、歯科衛生士従者数(延)86,224人、地域住民参加者数(延)1,426,606人であった。本報告書は、ホームページに掲載した。

③ 医科歯科連携によるチーム医療の推進に関すること

- ・全国病院歯科衛生士連絡協議会の開催等

医科歯科連携のチーム医療は、歯科医師・歯科衛生士による口腔健康管理が患者の低栄養や肺炎予防を通して在院日数を減少させ、患者のQOLの向上等に寄与することが明らかになってきている。そこで、本協議会では、病院・診療所に勤務する歯科衛生士が、チーム医療における知識・技能の習得及び最新の情報の共有化を図り、医科歯科連携のチーム医療に的確に対応することを目的として開催した。

開催日	令和5年9月16日(土)
開催会場	静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ 会議ホール風
参加費	無料
参加者	都道府県歯科衛生士会 病院担当者34名 自由参加事前登録者8名、当日参加6名
実施内容	<p>講演 「歯科保健医療に関する最近の動向について」 厚生労働省医政局 歯科保健課長 小椋 正之</p> <p>ミニレクチャー</p> <p>I 「歯科衛生士連絡書の紹介」 石井 美和</p> <p>II 「回復期病院から歯科診療所へ」 古川由美子</p> <p>III 「病院連携のアクションプランを考えよう」 山本 伸子</p> <p>IV 「急性期病院から歯科診療所へ 歯科衛生士連絡書を用いれなかった事例」 大屋 朋子</p> <p>V 「急性期病院と歯科医院(訪問診療)との連携 歯科衛生士連絡書の具体的な活用について」 池上由美子</p> <p>ワークショップ テーマ:「歯科衛生士のアクションプランを考えよう」 ー歯科衛生士連絡書の具体的な活用についてー</p>

④ 歯科衛生推進に関する調査及びマニュアル作成等

- ・リーフレット「人生100年時代の歯科受診とセルフケア」の発行、配布

⑤ その他歯科衛生の推進及び指導者育成に関すること

(3) 歯科衛生に関する国際協力

①大韓歯科衛生士協会第 45 回総合学術大会への派遣

開催期日	令和 5 年 7 月 15 日 (土) ~16 日 (日)
開催地	韓国・ソウル
派遣者	吉田 直美 国際歯科衛生士連盟代議員、日本歯科衛生士会会長 河野 章江 国際歯科衛生士連盟代議員、日本歯科衛生士会副会長 (通訳) 小林ノリヨ 日本歯科衛生士会事務局職員

②国際歯科衛生士連盟 (IFDH) との連携協力

③海外歯科衛生士の学術研究・関連情報の提供

④その他歯科衛生の国際協力

- ・大韓認知症口腔保健協会：高齢者のための口腔管理制度立ち上げへの協力

(4) その他歯科衛生士の資質向上及び倫理の高揚に関すること

2 歯科衛生の学術研究の振興に関する事業

歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を図るため、学術大会を開催し、学会雑誌を発行することにより、科学的根拠に基づく質の高い歯科衛生業務の実践を支援し、国民の健康と福祉の増進に寄与する。

(1) 日本歯科衛生学会 第 18 回学術大会の開催

日 程	会場開催：令和 5 年 9 月 16 日 (土) ~18 日 (月・祝) オンデマンド配信：令和 5 年 10 月 4 日 (水) ~31 日 (火) 研究討論会ライブ配信：令和 5 年 9 月 24 日 (日)
会 場	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
開催形式	ハイブリッド開催 (会場開催+オンデマンド配信、研究討論会のみ Zoom ライブ配信)
メインテーマ	人生 100 年時代、求められる地域医療連携とは ー歯科衛生士の専門性を探るー
主 催	日本歯科衛生学会、公益社団法人日本歯科衛生士会
共 催	特定非営利活動法人静岡県歯科衛生士会
後 援	静岡県、静岡市、一般社団法人静岡県歯科医師会 一般社団法人静岡市静岡歯科医師会、一般社団法人静岡市清水歯科医師会
参加者数	総 数 1,856 名 (内 訳) 学 会 員 1,177 名 会 員 外 110 名 学生会員 265 名 学 生 160 名 企業関係 106 名 講師・来賓 23 名 報道関係 5 名 一般市民 10 名
商業展示	31 社
ランチョンセミナー	3 社
プログラム	・特別講演 患者の声から考える医療 静岡県立大学看護学部特任教授・副学長 渡邊 順子 ・教育講演 未来につなぐ齲蝕予防戦略として周産期口腔保健の可能性を探索する ーマイナス 1 歳からはじめるむし歯予防ー

- 静岡県立大学短期大学部 教授・図書館長 仲井 雪絵
- ・ 招聘講演 韓国歯科衛生士の過去と現在、そして未来
大韓歯科衛生士協会 会長 ファン・ユンスク
 - ・ シンポジウム「がん患者を支える地域連携の重要性 静岡がんセンターの取り組み」
基調講演 口腔支持療法と地域連携の取り組み
静岡県立静岡がんセンター 歯科口腔外科 部長 百草 健圭志
 - 講演 1 病院でがん患者を支える歯科衛生士の役割
静岡県立静岡がんセンター 歯科衛生士 安藤 千賀子
 - 講演 2 地域でがん患者を支える歯科衛生士の立場から
静岡県歯科衛生士会 副会長 大川 晃子
 - 講演 3 がん患者の悩みや負担・苦痛に向き合い支える患者家族支援の取り組み
静岡県立静岡がんセンター 看護師 久山 幸恵
 - ・ 日本口腔衛生学会共同企画 歯科衛生研究の進め方
東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野 講師 木野 志保
 - ・ 日本歯科保存学会共同企画
口腔バイオフィルム感染症としてのう蝕とその予防・管理
ー求められる認定歯科衛生士（う蝕予防管理）ー
徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野 教授 湯本 浩通
 - ・ 県民フォーラム 百年後の静岡が豊かであるために
ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長 佐藤 洋一郎
 - ・ 研究討論会 歯科衛生研究における質問紙調査を考える
ー効果的で効率の良い質問紙調査の方法ー
日本歯科衛生学会編集委員会 松田 悠平、伊藤 奏
 - ・ ワークショップ
 - 1 在宅・施設において求められる地域連携
 - 2 行政の歯科衛生士の将来ビジョンを語り合おう
ー都道府県、市区町村に勤務する歯科衛生士が職能を発揮するためにー
 - 3 診療所歯科衛生士の魅力を語ろう！
 - ・ 会員発表 口演発表 36 題、ポスター発表 83 題

(2) 日本歯科衛生学会雑誌の発行

Vol. 18 No. 1 令和 5 年 8 月 10 日発行 22,200 部

Vol. 18 No. 2 令和 6 年 2 月 10 日発行 21,800 部

主な配布先

会員、文部科学省、厚生労働省、国会図書館、歯科大学図書館、歯科衛生士学校養成所、
関連学会、関係団体等

メディカルオンライン、医学中央雑誌収載誌に登録し、データベースに収録

(3) 学会運営会議等

- ① 学会運営協議会 (令和 5 年 9 月 16 日)
- ② 学会幹事会 (令和 5 年 5 月 14 日、7 月 15 日、10 月 26 日、11 月 15 日、
12 月 21 日、令和 6 年 2 月 13 日)
- ③ 学術プログラム委員会 (令和 5 年 11 月 15 日)
- ④ 学術表彰選考委員会 (令和 5 年 7 月 15 日)
- ⑤ 学会委員会 (企画第一委員会) (令和 5 年 5 月 14 日、10 月 16 日)
(企画第二委員会) (令和 5 年 6 月 30 日、8 月 28 日、9 月 10 日、9 月 15 日、
10 月 23 日、令和 6 年 2 月 19 日、2 月 28 日、3 月 5 日)

(編集委員会) (令和5年5月14日、7月19日)

(総務委員会) (令和5年5月3日、5月10日、5月19日、8月16日、
10月10日、11月13日、12月5日、令和6年1月17日)

⑥ 倫理審査委員会 (令和5年9月8日)

(4) 学術表彰

学術発表賞 (口演発表賞1名、ポスター発表賞1名、学生研究賞1名)

学術論文賞 (優秀賞1名、奨励賞3名)

(5) 研究助成

国民の歯科口腔保健の推進に寄与し、歯科衛生業務の発展、向上の一助とすることを目的に、研究助成を行った。

・ 歯科衛生臨床研究助成1名 (株式会社 YDM の協賛)

(6) その他学会の目的達成に必要なこと

II 歯科衛生の普及啓発により、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業 (公2)

1 歯科衛生の普及啓発及び広報に関する事業

(1) 歯科衛生だより (一般向け) の発行、配布 (偶数月、年6回)

74号	令和5年4月1日発行、配布	発行部数	25,500部
75号	令和5年6月1日発行、配布	発行部数	24,900部
76号	令和5年8月1日発行、配布	発行部数	27,300部
77号	令和5年10月1日発行、配布	発行部数	27,600部
78号	令和5年12月1日発行、配布	発行部数	27,700部
79号	令和6年2月1日発行、配布	発行部数	27,700部

主な配布先

会員のほか都道府県、市区町村、全国図書館、社会福祉団体、歯科衛生士学校養成所、歯科大学、都道府県歯科衛生士会、関係団体等

(2) 学生だよりの発行、配布 (年2回)

53号	令和5年7月15日発行、配布	発行部数	20,300部
54号	令和6年1月15日発行、配布	発行部数	21,300部

主な配布先

歯科衛生士学校養成所の学生及び関係団体等

(3) Web サイトによる歯科衛生情報等の配信

① 歯とお口の健康情報等

4月 「知ってほしい口腔がんのこと 口腔がんは増えています」
「歯ぐきの健康を保つために、マイデンタルハイジニストを持とう！」

6月 「大規模災害時における歯科保健医療と歯科衛生士への期待」
「「誤嚥性肺炎」をご存じでしょうか。」

- 8月 「知っていますか？歯周病と全身のかかわり」
「少しでも早く「いつも」に戻るための備え」
- 10月 「オンライン資格確認等システムが実現する新しい医療」
「骨粗鬆症とお口の関係」
- 12月 「人生100年時代、求められる地域医療連携とは」
「むし歯予防には「フッ化物」が欠かせません！」
- 2月 「加工でんぷんスナック製品(PSSP)とむし歯の深い関係」
「歯科医院と上手に付き合いましょう 歯と口の健康を守り、一生楽しく暮らすために」

② Instagram アカウントの運用

Ⅲ 地域の歯科衛生活動を支援することにより、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業（公3）

(1) 地域歯科衛生活動への助成

① 地域住民の歯科口腔保健の向上に関する事業をより一層推進するため、申請団体等の地域歯科衛生活動に対して助成金を交付する。

地域における歯科口腔保健を推進するため、都道府県歯科衛生士会等が実施する地域歯科衛生活動を助成し、支援した。

本会の「地域歯科衛生活動」助成事業交付要綱に基づき、「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会において審査を行い、申請のあった10団体（岩手県歯科衛生士会、山形県歯科衛生士会、群馬県歯科衛生士会、埼玉県歯科衛生士会、滋賀県歯科衛生士会、和歌山県歯科衛生士会、岡山県歯科衛生士会、山口県歯科衛生士会、愛媛県歯科衛生士会、大分県歯科衛生士会）における各種・地域歯科衛生活動を助成した。

実施は、活動内容 10 項目、実施日数 287 日、実施人数 3,560 人、実施施設（会場）146 か所、活動に参加した歯科衛生士(延)485 人、歯科医師(延)8 人、その他の職種（延）56 人であった。活動の実施状況は、順次「歯科衛生だより」に掲載し、紹介する。

(参考資料8)

② 事業助成団体による事業実施報告会の開催

令和4年度に助成を受けた10団体のうち、7団体の事業実施報告動画をウェブサイトに掲載した。

(2) 災害歯科保健歯科衛生士の育成

都道府県歯科衛生士会において、災害時の歯科保健活動が迅速かつ円滑に行えるよう、種別ごとの役割に応じた歯科衛生士を育成するとともに、登録により「災害歯科保健歯科衛生士」の確保を図る。

① 新任都道府県歯科衛生士会災害歯科保健業務調整（ロジスティクス）歯科衛生士

「通称：都道府県衛ロジ」及び災害歯科保健コーディネーター歯科衛生士研修

開催日	令和5年7月9日（日）
開催地	オンライン研修
受講者	新任の都道府県歯科衛生士会災害歯科保健業務調整（ロジスティクス）歯科衛生士「通称：都道府県衛ロジ」及び災害歯科保健コーディネーター（受講料無料）

② 「災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」の開催

都道府県歯科衛生士会災害歯科保健業務調整（ロジスティクス）歯科衛生士「通称：都道府県衛ロジ」及び災害歯科保健コーディネーター歯科衛生士の育成研修

ア 「災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」の開催

開催形式	ブロック別集合型
開催期日	令和5年12月3日(日) 東日本ブロック会場(3カ所) 12月10日(日) 西日本ブロック会場(3カ所)
参加者	ブロック別集合型 計135名 (内訳：ロジスティクス46名、コーディネーター89名 途中体調不良にて退席1名含) 担当役員及び委員11名
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> 災害歯科保健委員会からの情報提供 グループワーク「発災時の初動対応における連絡体制を考える」

③ 災害歯科保健歯科衛生士（地域活動担当者）の育成

ア 災害歯科保健歯科衛生士の育成研修

開催期日	令和5年9月1日(金)～30日(土)
開催方法	<p>eラーニングの受講・登録 eラーニング内容 「災害と支援の枠組み」 「災害時の地域保健」 「災害時の被災者の心理」 国立保健医療科学院健康危機管理研究部(併任)生涯健康研究部 公衆衛生看護研究領域 上席主任研究官 奥田 博子 「災害時の歯科の役割と変遷/災害支援における歯科衛生士の役割」 「災害時の歯科口腔アセスメントの体系化/実際(地域)」 「災害時の歯科口腔アセスメントの実際(個人)」 「被災者の心情に配慮した歯科保健活動」 「災害歯科保健活動における「食べる」支援」 東京医科歯科大学 救急災害医学分野 非常勤講師 中久木康一 「災害時の歯科衛生士の活動の実際」 「災害歯科保健活動における多職種との連携」 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 久保山裕子</p>
対象者	都道府県歯科衛生士会推薦者(参加費無料)
登録者	344名

イ 災害歯科保健歯科衛生士の更新研修

受講期間	受講期間 令和5年11月1日(水)～22日(水)
開催形式	オンデマンド配信
開催方法	<p>「災害と地域支援の枠組み～災害対策・法制度」 「災害と地域支援の枠組み～地域健康課題」 国立保健医療科学院 上席主任研究官 奥田 博子 「災害時の歯科の役割と優先すべき事項」 「歯科口腔アセスメントの方法と方向性」 「被災者と支援者の気持ちとストレス」 「災害支援における歯科の体制とJDAT」 東京医科歯科大学 救急災害医学分野 非常勤講師 中久木康一 「災害時の歯科衛生士の役割」 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 久保山裕子</p>

対象者	有効期限 令和6年3月31日までの災害歯科保健歯科衛生士 (対象者：令和2年度登録者 428名、令和3年度登録者 378名) (受講料無料)
登録者	656名

(3)災害時歯科保健ネットワークシステムへの連携・参画等

日本歯科医師会「日本災害歯科保健医療連絡協議会」への参画、他

IV その他事業

1 都道府県歯科衛生士会及び地区との連携、及び会員管理等に関する事業（他1）

(1) 都道府県歯科衛生士会会長の開催

日時 令和6年2月11日（日）

場所 ステーションコンファレンス東京 602

出席者 都道府県歯科衛生士会長 47名

関係者（役員） 21名

協議事項

- 1 令和6年度事業計画（案）の概要について
- 2 令和6年度の生涯研修・認定研修について
- 3 都道府県歯科衛生士会への研修支援について
- 4 令和6年度「ブロック連絡協議会」および「ブロック研修」実施要領について
- 5 歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修等事業について

報告事項

1. 各委員会

- 1 生涯研修委員会
- 2 在宅・施設口腔健康管理委員会
- 3 災害歯科保健委員会
- 4 地域歯科保健委員会
- 5 診療所委員会

2. 石川県歯科衛生士会

分科会

情報提供「加入率（組織率）を維持するには」 各県活動の紹介

兵庫県歯科衛生士会、島根県歯科衛生士会

規模別グループ討議「加入率（組織率）を維持・向上するには」

ブロック別交流会 規模別グループ討議の内容を共有、次年度ブロック協議会の相談

(2)ブロック連絡協議会開催助成（ブロック研修含む）

都道府県歯科衛生士会との連携協調を図るため地域別のブロック連絡協議会を開催するとともに、組織活動の活性化及び地域歯科衛生活動の充実を図ることを目的として「ブロック研修」を実施した。

(参考資料9)

(3)会員拡大・管理・育成に関すること

① 歯科衛生だより会報の発行、配布

74号 令和5年4月1日発行、配布 発行部数 20,000部

75号	令和5年6月1日発行、配布	発行部数	19,400部
76号	令和5年8月1日発行、配布	発行部数	21,800部
77号	令和5年10月1日発行、配布	発行部数	22,100部
78号	令和5年12月1日発行、配布	発行部数	22,200部
79号	令和6年2月1日発行、配布	発行部数	22,200部

主な配布先 会員、関係団体等

② 会員証の発行、配布

③ 歯科衛生士手帳の発行

発行部数 21,500部

主な配布先 会員、関係団体等

④ 会員表彰

(正会員表彰) 功労賞 28名、永年精励賞 70名 (参考資料 10)

⑤ その他会員拡大・管理・育成に必要なこと

- ・入会案内の作成・配布等
- ・災害時における会員の安否確認システム

(4) 歯科衛生士の人材確保・復職支援に関すること

- ① 歯科衛生士の復職支援・離職防止等推進事業に関する運営委員会（広島大学、愛知学院大学短期大学部）への参画

2 会員の相互扶助に関すること（他2）

(1) 会員福祉規程に基づく死亡弔慰金、見舞金の給付

死亡弔慰金 11件、災害見舞金 5件、入院見舞金 45件

(2) 団体保険の紹介（傷害保険、賠償責任保険）

V その他本会の目的達成のために必要なこと

(1) 関係省庁との連携・協力

(2) 関係団体との連携・協力

(3) 要望書提出

厚生労働省及び関係者等に「令和6年度予算・制度等に関する要望書」を提出した。

(参考資料 11)

(4) 関係省庁、関係団体の役員、委員等

関係団体等	氏名
(一財) 歯科医療振興財団 理事 監事 評議員	吉田 直美 渡邊 洋子 久保山裕子
(一財) 歯科医療振興財団 歯科衛生士試験企画評価委員会 歯科衛生士試験委員選考委員会	委員 委員 山田小枝子 山田小枝子
(公財) 8020 推進財団 理事	吉田 直美
(NPO) 日本歯周病学会 (NPO) 日本歯科保存学会 (一社) 日本スポーツ歯科医学会	理事 (日本歯科衛生士会選出理事) 理事 (日本歯科衛生士会選出理事) 理事 高橋由希子 立澤 敦子 岡田 昌子
	(日本歯科衛生士会選出理事)

国際歯科衛生士連盟 (IFDH) 代議員 代議員		吉田 直美 河野 章江
歯科医療提供体制等に関する検討会 委員		吉田 直美
ライフステージに応じた歯科口腔保健推進事業に係る調査研究等一式検討 会 委員		吉田 直美
就労世代の歯科健康診査推進事業検討委員会 委員		吉田 直美
歯科保健医療情報サイトの在り方検討委員会 委員 歯科保健医療情報サイトにおける自治体事例選定委員会 委員		吉田 直美 長 優子
(公財) ライオン歯科衛生研究所 評議員選定委員会 委員		河野 章江
母子保健推進会議 「8020 の里賞」 審査委員		長 優子
(一社) 日本歯科専門医機構 専門医申請学会評価認定委員会 委員 新規専門医制度小委員会 委員 専門医制度総務委員会 委員		吉田 直美 河野 章江 立澤 敦子
通所事業所における口腔・栄養関連サービスに関する調査研究事業 委員		吉田 直美
リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組に関する 調査研究事業 委員		吉田 直美
厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会 歯科口腔保健の推進に関する 専門委員会 委員		吉田 直美
歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業 検討会議 委員		吉田 直美
歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業 総合評価部会 委員		吉田 直美
日本在宅歯科医療・介護連携推進連絡協議会 委員		吉田 直美
(一社) 日本歯科医学会連合 医療職連携委員会 委員		吉田 直美
(一社) 日本歯科医学会連合 専門歯科衛生士制度検討ワーキンググループ 委員 委員 委員		吉田 直美 河野 章江 吉田 幸恵
(公社) 日本歯科医師会 日本災害歯科保健医療連絡協議会		久保山裕子
(公社) 日本障害者歯科学会 災害対策委員会 委員 (オブザーバー)		久保山裕子
第 80 回全国小学生歯みがき大会 組織委員		岡田 昌子
ICT を活用した歯科診療等に関する検討会 委員		久保山裕子
ICT を活用した医科歯科連携等の検証に係る委員会 委員		久保山裕子
愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター運営会議 オブザーバー		吉田 直美
広島大学歯学部歯科衛生士教育センター運営委員会 陪席者		岡田 昌子

(5) 加入団体及び後援協力事業

参考資料 12 に記載のとおり

VI 諸 会 議

1 代議員会

定時代議員会

期 日 令和 5 年 6 月 11 日 (日)

場 所 ステーションコンファレンス東京 501

会議の成立 代議員総数 83 名

出席代議員 80 名

(うち議決権行使 4 名、委任状提出 3 名)

出席理事数 19 名

	出席監事数	2名
	出席顧問数	2名
議長	三好 早苗 (広島県)	
副議長	末永 智美 (北海道)	
議事録署名人	打矢 純子 (神奈川県)、高橋 千鶴 (兵庫県)	
議事	第1号議案	理事及び監事の選任に関する件
	第2号議案	令和4年度事業報告(案)に関する件
	第3号議案	令和4年度決算報告(案)に関する件
	第4号議案	役員の報酬等に関する規程の改正に関する件
	第5号議案	会長候補者の選定に関する件

2 理事会

開催日	開催場所	出席者
(第1回) R5. 5. 21 (臨時) R5. 6. 11	日本歯科衛生士会会議室 ステーションコンファレンス東京 503	理事 19名、監事 2名、顧問等 3名 理事 20名、監事 2名、学会長 1名
(第2回) R5. 7. 2	日本歯科衛生士会会議室	理事 20名、監事 2名、学会長 1名
(第3回) R5. 10. 1	日本歯科衛生士会会議室	理事 20名、監事 2名、学会長 1名
(第4回) R5. 12. 2	日本歯科衛生士会会議室	理事 19名、監事 2名、学会長 1名
(第5回) R6. 1. 21	日本歯科衛生士会会議室	理事 20名、監事 2名、学会長 1名
(第6回) R6. 3. 10	日本歯科衛生士会会議室	理事 20名、監事 2名

議事内容

第1回理事会 (令和5年5月21日)

- ・令和4年度事業報告(案)について
- ・令和4年度決算報告(案)について
- ・令和4年度事業報告に係る提出書(内閣府)について
- ・令和5年度定時代議員会議案の概要(代議員会運営規則第2条第1項第7号イ、ロ及び第2項関連)について
- ・会計及び財産管理規程の一部改正(案)について
- ・令和5年度会長表彰について
- ・令和5年度「地域歯科衛生活動」助成事業(案)について
- ・新入会員の承認について
- ・第68回日本口腔外科学会総会・学術大会「第15回歯科衛生士研究会」について
- ・認定歯科衛生士の英語表記について

臨時理事会 (令和5年6月11日)

- ・代表理事の選定について
- ・業務執行理事(副会長、専務理事、常務理事)の選定及び理事の職務分掌について
- ・学会長の選任について
- ・関係団体等への出向役員、委員等について
- ・顧問の委嘱について
- ・学会顧問の委嘱について
- ・指導者講習会受講者の受講3年から6年後アンケート実施について

第2回理事会 (令和5年7月2日)

- ・令和6年度予算・制度等に関する要望について
- ・令和5年度「災害歯科保健歯科衛生士育成研修」実施要領(案)について
- ・令和5年度「災害歯科保健歯科衛生士更新研修」実施要領(案)について
- ・令和5年度歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業について

- ・情報セキュリティ管理委員会（仮）設立（案）について
- ・国際協力委員会委員の委嘱について
- ・表彰審査会委員の委嘱について
- ・嘱託職員規程改正（案）について
- ・新入会員の承認について
- ・第 80 回全国小学生歯みがき大会組織委員の推薦について

第 3 回理事会（令和 5 年 10 月 1 日）

- ・令和 5 年度歯科衛生推進フォーラム及び都道府県歯科衛生士会会長会の開催について
- ・情報セキュリティ委員会（仮）について
- ・日本歯科衛生学会第 20 回学術大会について
- ・「地域ケア会議」取り組み状況についてのアンケートについて
- ・日本歯科衛生士会設立 75 年記念事業について
- ・常勤理事について
- ・認定歯科衛生士委員会委員の委嘱について
- ・表彰審査会委員の委嘱について
- ・認定歯科衛生士審査会委員の委嘱について
- ・日本顎関節学会との連携について
- ・終身会員の承認について
- ・新入会員の承認について
- ・令和 5 年度「災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」実施要領（案）について

第 4 回理事会（令和 5 年 12 月 2 日）

- ・令和 5 年度歯科衛生推進フォーラム及び都道府県歯科衛生士会会長会について
- ・令和 6 年度ブロック連絡協議会、ブロック研修実施要領（案）について
- ・日本歯科衛生学会第 19 回学術大会について
- ・令和 6 年度事業計画の概要（案）について
- ・令和 6 年度認定歯科衛生士セミナー実施計画（案）について
- ・令和 6 年度「地域歯科衛生活動」事業の助成について
- ・令和 5 年度補正予算について
- ・諸規則整備委員会の設置について
- ・生涯研修委員会委員の委嘱について
- ・新入会員の承認について
- ・日本顎関節学会との講習会について
- ・第 27 回感染症予防歯科衛生士講習会実施要領（案）について

第 5 回理事会（令和 6 年 1 月 21 日）

- ・日本歯科衛生学会第 19 回学術大会ハイブリッド開催費用、参加費等について
- ・令和 6 年度職員給与について
- ・令和 6 年度各委員会の活動計画（案）について
- ・令和 6 年度事業計画（案）について
- ・令和 6 年度認定歯科衛生士セミナー実施計画（案）について
- ・令和 6 年度収支予算（内訳書）（案）について
- ・新入会員の承認について
- ・第 5 次生涯研修制度について
 - 第 5 次生涯研修制度実施要綱細則の一部改正について
 - 令和 6 年度都道府県歯科衛生士会への研修支援について
 - 認定歯科衛生士制度施行細則及び認定歯科衛生士認定更新の手引きの一部改正について
- ・令和 4 年度地域歯科保健活動実施状況報告書について
- ・令和 5 年度地域歯科保健活動実施状況調査について
- ・諸規則整備委員会委員の委嘱について
- ・「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会委員の委嘱について

- ・2024 歯科衛生国際シンポジウムおよび HoD 会議について
- ・日本歯科衛生士会長期ビジョン策定

第 6 回理事会（令和 6 年 3 月 10 日）

- ・令和 6 年度各委員会の活動計画（案）について
- ・定款の改正について
- ・代議員会運営規則の改正について
- ・代議員選挙規則の改正について
- ・役員選任規程の改正について
- ・会員規程の改正について
- ・令和 6 年度事業計画（案）について
- ・令和 6 年度収支予算（案）について
- ・令和 6 年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・令和 6 年度定時代議員会開催（案）について
- ・新入会員の承認について
- ・令和 6 年度災害歯科保健歯科衛生士育成研修
および災害時に活動する歯科衛生士の登録について
- ・認定歯科衛生士委員会委員の委嘱について
- ・歯科衛生士の実態調査の実施について
- ・第 5 次生涯研修制度実施要綱の一部改正について
- ・ウェブサイト会員ページでの修了証書ダウンロードについて
- ・災害歯科保健活動に関する調査への研究協力について

3 常務理事会

- 第 1 回 令和 5 年 4 月 23 日(日)
- 第 2 回 令和 5 年 6 月 24 日(土)
- 第 3 回 令和 5 年 9 月 2 日(土)
- 第 4 回 令和 5 年 11 月 8 日(水)
- 第 5 回 令和 6 年 2 月 11 日(日)

4 常任委員会・専門委員会

委員会名	開催日	
(常任委員会) 生涯研修委員会	第 1 回	令和 5 年 4 月 22 日
	第 2 回	7 月 1 日
	第 3 回	9 月 30 日
	第 4 回	令和 6 年 1 月 7 日
認定歯科衛生士委員会	第 1 回	令和 5 年 4 月 23 日
	第 2 回	6 月 25 日
	第 3 回	11 月 19 日
	第 4 回	令和 6 年 1 月 7 日
	第 5 回	2 月 18 日
生涯研修部合同委員会	第 1 回	令和 6 年 1 月 7 日
歯科衛生推進委員会 病院委員会	第 1 回	令和 5 年 4 月 8 日
	第 2 回	7 月 8 日
	第 3 回	8 月 3 日
	第 4 回	8 月 30 日
	第 5 回	11 月 12 日
	第 6 回	令和 6 年 1 月 20 日
診療所委員会	第 1 回	令和 5 年 4 月 12 日
	第 2 回	7 月 16 日

	第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	8月24日 10月22日 12月27日 令和6年2月15日 3月24日
病院・診療所合同委員会	第1回	令和6年3月24日
地域歯科保健委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	令和5年5月13日 7月15日 9月2日 11月18日 12月23日 令和6年3月16日
教育養成委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和5年10月29日 令和6年1月6日 2月5日 2月13日
在宅・施設口腔健康管理委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	令和5年5月13日 8月5日 10月28日 11月7日 令和6年1月7日 3月2日
災害歯科保健委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	令和5年5月28日 6月17日 9月2日 10月15日 10月30日 11月25日 令和6年2月17日
広報委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	令和5年4月20日 6月15日 8月17日 10月19日 12月21日 令和6年2月22日
国際協力委員会	第1回 第2回	令和5年6月2日 9月8日
組織委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	令和5年5月13日 7月1日 8月26日 9月30日 令和6年1月20日
表彰審査会	第1回 第2回 第3回	令和5年4月7日 10月30日 令和6年2月9日
(専門委員会) 認定歯科衛生士審査会	第1回 第2回	令和5年12月3日 令和6年1月27日
「地域歯科衛生活動」助成事業 審査委員会	第1回	令和5年5月13日
情報セキュリティ委員会	第1回	令和5年12月11日

諸規則整備委員会	第1回 第2回 第3回	令和6年1月31日 令和6年2月21日 2月29日
(日本歯科衛生学会委員会等) 学会運営協議会	第1回	令和5年9月16日
学会幹事会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	令和5年5月14日 7月15日 10月26日 11月15日 12月21日 令和6年2月13日
学術プログラム委員会	第1回	令和5年11月15日
学術表彰選考委員会	第1回	令和5年7月15日
学会委員会 企画第一委員会	第1回 第2回	令和5年5月14日 10月16日
企画第二委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	令和5年6月30日 8月24日 9月10日 9月15日 10月23日 令和6年2月19日 2月28日 3月5日
編集委員会	第1回 第2回	令和5年5月14日 7月19日
総務委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	令和5年5月3日 5月10日 5月19日 8月16日 10月10日 11月13日 12月5日 令和6年1月17日
倫理審査委員会	第1回	令和5年9月8日

Ⅶ 監査

事業及び会計監査

第1回

開催日 令和5年5月16日(火)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和4年度、令和5年2月～3月
出席者 渡邊監事、今村監事
吉田会長、茂木副会長、久保山副会長、河野専務理事、根岸常務理事

第2回

開催日 令和5年9月8日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和5年4月～7月
出席者 渡邊監事、今村監事
吉田会長、岡田専務理事
WEB出席 根岸常務理事

第3回

開催日 令和5年12月8日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和5年8月～10月
出席者 渡邊監事
吉田会長、久保山副会長、河野副会長、岡田専務理事
欠席者 今村監事(後日フォローアップ監査実施済)

第4回

開催日 令和6年2月16日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和5年11月～令和6年1月
出席者 渡邊監事、今村監事
岡田専務理事、根岸常務理事
WEB出席 吉田会長

I 会員の状況

1 会 員 21,340 名(社含む)

正 会 員 15,532 名
 [正 会 員 15,429 名
 正 会 員 (名 誉 会 員) 4 名
 正 会 員 (終 身 会 員) 99 名]

準 会 員 5,808 名(社含む)
 [学 生 会 員 5,658 名
 第 二 会 員 118 名
 賛 助 会 員 32 社]

名 誉 会 員 (4 名)

佐々木富美子 (大阪府)
 百束 雅子 (千葉県)
 小林キクイ (新潟県)
 金澤 紀子 (東京都)

終 身 会 員 (99 名)

北海道 3 名、青森県 2 名
 岩手県 4 名、宮城県 1 名
 秋田県 2 名、山形県 1 名
 福島県 2 名、茨城県 2 名
 群馬県 1 名、埼玉県 2 名
 千葉県 5 名、東京都 6 名
 神奈川県 3 名、山梨県 2 名
 長野県 1 名、新潟県 1 名
 石川県 2 名、岐阜県 2 名
 静岡県 2 名、愛知県 5 名
 三重県 1 名、滋賀県 2 名
 京都府 2 名、大阪府 11 名
 兵庫県 3 名、和歌山県 2 名
 鳥取県 2 名、島根県 1 名
 岡山県 4 名、広島県 6 名
 香川県 1 名、愛媛県 4 名
 福岡県 2 名、熊本県 4 名
 大分県 2 名、鹿児島県 2 名
 沖縄県 1 名

物 故 会 員 (11 名)

松本 捷子 (埼玉県)
 山本 洋子 (大阪府)
 菅野 洋子 (福島県)
 永野 紀代 (大阪府)
 小川ふみ代 (新潟県)
 手塚 義恵 (北海道)
 小山 恵子 (岩手県)
 鈴木さと子 (静岡県)
 岩田さち子 (静岡県)
 漆館ミエ子 (青森県)
 大谷 康代 (埼玉県)

正会員の都道府県会別内訳

都道府県	継続会員	新入会員	R6. 3. 31
北海道	539	54	593
青森県	103	4	107
岩手県	195	10	205
宮城県	186	24	210
秋田県	75	5	80
山形県	128	9	137
福島県	264	4	268
茨城県	221	15	236
栃木県	134	8	142
群馬県	292	9	301
埼玉県	402	18	420
千葉県	408	111	519
東京都	1,066	132	1,198
神奈川県	505	32	537
山梨県	108	16	124
長野県	387	29	416
新潟県	446	24	470
富山県	114	2	116
石川県	126	44	170
福井県	66	6	72
岐阜県	358	28	386
静岡県	444	57	501
愛知県	902	74	976
三重県	272	18	290
滋賀県	180	13	193
京都府	278	9	287
大阪府	894	77	971
兵庫県	1,033	147	1,180
奈良県	142	8	150
和歌山県	118	5	123
鳥取県	89	4	93
島根県	183	3	186
岡山県	274	16	290
広島県	418	24	442
山口県	135	7	142
徳島県	145	16	161
香川県	250	13	263
愛媛県	189	26	215
高知県	141	5	146
福岡県	585	37	622
佐賀県	137	16	153
長崎県	190	41	231
熊本県	430	48	478
大分県	185	9	194
宮崎県	74	7	81
鹿児島県	183	17	200
沖縄県	212	45	257
計	14,206	1,326	15,532

学生会員加入校一覧

令和6年3月31日現在

学校数	都道府県	加入数	学校名	1年	2年	3年	4年	大学院等	合計
(11)	北海道	1	小樽歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科	19	17	24			60
		2	帯広コア専門学校 歯科衛生士科	15	12	22			49
		3	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科		11	12			23
		4	札幌医学技術福祉歯科専門学校 歯科衛生士科			1			1
		5	札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科			2			2
		6	北海道歯科衛生士専門学校	7		12			19
		7	吉田学園医療歯科専門学校 歯科衛生学科	41	39	35			115
(3)	青森県	8	青森歯科医療専門学校 歯科衛生士科			1			1
		9	八戸保健医療専門学校 歯科衛生士学科	24	36	29			89
(2)	岩手県	10	岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生学科	8	1	2			11
		11	盛岡医療大学校 歯科衛生士学科		13	11			24
(2)	福島県	12	東北歯科専門学校 歯科衛生士科			28			28
		13	福島医療専門学校 歯科衛生士科	56	53	54			163
(4)	茨城県	14	茨城歯科専門学校 歯科衛生士科	45	46	44			135
		15	つくば歯科福祉専門学校 歯科衛生士科	14	19	15			48
		16	取手歯科衛生専門学校	48	40	38			126
(3)	栃木県	17	栃木県立衛生福祉大学校 歯科技術学部歯科衛生学科			20			20
(5)	群馬県	18	太田医療技術専門学校 歯科衛生学科			41			41
		19	中央医療歯科専門学校 太田校 歯科衛生士学科			20			20
		20	中央医療歯科専門学校 高崎校 歯科衛生士学科			31			31
(4)	埼玉県	21	葵メディカルアカデミー 歯科衛生科			34			34
(5)	千葉県	22	北原学院歯科衛生専門学校			107			107
		23	北原学院千葉歯科衛生専門学校			116			116
		24	千葉県立保健医療大学 健康科学部歯科衛生学科				2		2
		25	明海大学 保健医療学部 口腔保健学科				13		13
(20)	東京都	26	専門学校首都医校 歯科衛生学科	6		1			7
		27	新宿医療専門学校 歯科衛生学科			103			103
		28	東京医科歯科大学 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻		5	3	10		18
		29	東京医薬看護専門学校 歯科衛生士科	1					1
		30	東京歯科衛生専門学校		3	1			4
		31	東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科			51			51
		32	日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校			30			30
(6)	神奈川県	33	湘南歯科衛生士専門学校		56	39			95
		34	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校	48	41	40			129
		35	鶴見大学短期大学部 歯科衛生科			2			2
		36	横浜歯科医療専門学校 歯科衛生士学科	1		1			2
(1)	山梨県	37	山梨県歯科衛生専門学校			45			45
(4)	長野県	38	長野医療衛生専門学校 歯科衛生士学科			22			22
		39	長野県公衆衛生専門学校 歯科衛生士学科			18			18
		40	長野平青学園 歯科衛生士科			22			22
		41	松本歯科大学衛生学院 歯科衛生士学科			25			25

学校数	都道府県	加入数	学 校 名	1年	2年	3年	4年	大学院等	合計
(4)	新潟県	42	三条看護・医療・歯科衛生専門学校			1			1
		43	明倫短期大学 歯科衛生士学科			49			49
(1)	富山県	44	富山歯科総合学院 歯科衛生士科			39			39
(2)	石川県	45	石川県歯科医師会立歯科医療専門学校 歯科衛生士科			57			57
(3)	岐阜県	46	朝日大学歯科衛生士専門学校			76			76
		47	大垣女子短期大学 歯科衛生学科			52			52
		48	岐阜県立衛生専門学校 歯科衛生学科			20			20
(6)	静岡県	49	静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科			2			2
		50	静岡歯科衛生士専門学校 歯科衛生学科			5			5
		51	中央医療健康大学校 歯科衛生学科			33			33
		52	中央歯科衛生士調理製菓専門学校 歯科衛生学科			31			31
		53	東海歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科			37			37
		54	浜松歯科衛生士専門学校		2	42			44
(11)	愛知県	55	愛知学院大学短期大学部 専攻科					10	10
		56	慈恵歯科医療ファッション専門学校 歯科衛生士学科	36	33	35			104
		57	ナゴノ福祉歯科医療専門学校 歯科衛生士科			78			78
		58	名古屋医健スポーツ専門学校 歯科衛生科			37			37
		59	名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校			34			34
		60	名古屋ユマニテク歯科衛生専門学校 歯科衛生学科			113			113
		61	三河歯科衛生専門学校			39			39
(3)	三重県	62	伊勢保健衛生専門学校 歯科衛生学科			31			31
		63	三重県立公衆衛生学院 歯科衛生学科			30			30
		64	専門学校ユマニテク医療福祉大学校 歯科衛生学科			38			38
(1)	滋賀県	65	滋賀県立総合保健専門学校 歯科衛生学科	1					1
(3)	京都府	66	京都歯科衛生学院専門学校 歯科衛生士コース		1				1
(15)	大阪府	67	大阪医専 歯科衛生学科	1					1
		68	大阪歯科学院専門学校 歯科衛生士学科			49			49
		69	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科			3	17		20
		70	大阪府歯科医師会附属歯科衛生士専門学校			62			62
		71	関西医療学園専門学校 歯科衛生学科		1				1
		72	関西女子短期大学 歯科衛生学科		1	1			2
		73	堺歯科衛生士専門学校			31			31
		74	新大阪歯科衛生士専門学校	126	119	124			369
		75	太成学院大学歯科衛生専門学校	21	14	20			55
		76	なにわ歯科衛生専門学校			102			102
		77	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科		2	3	8		13
		78	行岡医学技術専門学校 歯科衛生科	36	52	40			128

学校数	都道府県	加入数	学 校 名	1年	2年	3年	4年	大学院等	合計
(9)	兵庫県	79	大手前短期大学 歯科衛生学科		84	69			153
		80	神戸常盤大学 保健科学部 口腔保健学科			13			13
		81	姫路歯科衛生専門学校		39	32			71
		82	兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院 歯科衛生学科		65	78			143
		83	兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科		39	35			74
		84	神戸総合医療専門学校 歯科衛生士科		1				1
(1)	和歌山県	85	和歌山県歯科衛生士専門学校	26	36	25			87
(1)	鳥取県	86	鳥取県立歯科衛生専門学校			30			30
(1)	島根県	87	島根県歯科技術専門学校 歯科衛生士科			3			3
(3)	岡山県	88	朝日医療大学校 歯科衛生学科	56	38	22			116
		89	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校	46	50	50			146
		90	岡山高等歯科衛生専門学院	36	41	55			132
(5)	広島県	91	広島高等歯科衛生士専門学校			52			52
		92	広島大学歯学部口腔健康科学科 口腔保健学専攻				10		10
		93	福山歯科衛生士学校		1				1
(5)	徳島県	94	専門学校徳島穴吹カレッジ 歯科衛生士学科			13			13
		95	四国歯科衛生士学院専門学校			10			10
		96	徳島歯科学院専門学校 歯科衛生士科		14	17			31
		97	徳島大学歯学部口腔保健学科・大学院			15	14	4	33
		98	徳島文理大学 保健福祉学部 口腔保健学科				11		11
(2)	香川県	99	穴吹医療大学校 歯科衛生学科			21			21
		100	香川県歯科医療専門学校 衛生士科		44	54			98
(3)	愛媛県	101	河原医療大学校 歯科衛生学科	42	43	40			125
		102	河原医療大学校 新居浜校 歯科衛生学科	32	24	18			65
		103	松山歯科衛生士専門学校 歯科衛生学科		39	40			79
(9)	福岡県	104	九州歯科大学 歯学部 口腔保健学科		5	1	14		20
		105	九州医療スポーツ専門学校 歯科衛生学科		1				1
		106	久留米歯科衛生専門学校	1	1				2
		107	博多メディカル専門学校 歯科衛生士科			50			50
		108	福岡医療短期大学 歯科衛生学科	2	2	1			5
		109	福岡歯科衛生専門学校	2		1			3
(2)	佐賀県	110	佐賀歯科衛生専門学校	34	42	37			113
(2)	長崎県	111	九州文化学園歯科衛生士学院			25			25
		112	長崎歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科			45			45
(3)	熊本県	113	熊本歯科技術専門学校 歯科衛生士科			42			42
(3)	大分県	114	大分歯科専門学校 歯科衛生士科			26			26
		115	藤華歯科衛生専門学校 歯科衛生学科	31	17	13			61
(2)	鹿児島県	116	鹿児島歯科学院専門学校 歯科衛生士科	2		23			25
		117	鹿児島医療福祉専門学校 歯科衛生学科			31			31
(2)	沖縄県	118	沖縄歯科衛生士学校			44			44
				864	1243	3447	99	14	5658

賛助会員名簿

令和6年3月31日現在

医歯薬出版株式会社
一世印刷株式会社
ウエルテック株式会社
長田電機工業株式会社
株式会社オール・デンタル・ジャパン
株式会社カンミ堂
株式会社クオキャリア
株式会社グッピーズ
グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社
株式会社クリニコ
クロスフィールド株式会社
小林製薬株式会社
有限会社佐々木広告社
三幸総研株式会社
サンスター株式会社
株式会社ジェイ・エム・エス
株式会社ジーシー
株式会社ジーシー昭和薬品
株式会社松風
ゾンネボード製薬株式会社
タカラベルモント株式会社
株式会社デンタルダイヤモンド社
株式会社ニッシン
日本歯科薬品株式会社
ヒューフレディ・ジャパン合同会社
株式会社ビーブランド・メディコーデンタル
メディア株式会社
株式会社モリタ
株式会社ヨシダ
ライオン歯科材株式会社
Kenvue Japan
株式会社 YDM

(32社, 50音順)

参考資料 2

II 理事、監事、代議員、顧問、職員

1 理事

会長	吉田 直美	(統括)
副会長	久保山裕子	(歯科衛生推進)
	河野 章江	(生涯研修、認定研修、国際協力)
専務理事	岡田 昌子	(広報、組織、総務、調査、指導者等講習会)
常務理事	根岸 麻理	(財務)
	武藤 智美	(病院・診療所、医療連携)
	島谷 和恵	(広報)
	石川奈保美	(生涯研修、学会)
	村西加寿美	(在宅・施設口腔健康管理)
理事	須山 弘子	(認定研修)
	秋山 恭子	(生涯研修)
	山田小枝子	(教育養成)
	長 優子	(地域歯科保健)
	松本 厚枝	(学会、指導者等講習会)
	長岐 祐子	(組織)
	石川 博美	(組織)
	渡邊 理沙	(組織)
	吉福 美香	(組織)
	松浦あずさ	(組織)
	下池 光	(組織、歯科衛生推進)

2 監事

会員	渡邊 洋子
会員外	今村 敬

3 代議員 83名 別紙 代議員名簿のとおり

4 顧問

弁護士	宮武 洋吉
税理士	小林 広樹

5 学会顧問

東京医科歯科大学教授	木下 淳博
新潟大学名誉教授	宮崎 秀夫
東京歯科大学短期大学学長	鳥山 佳則

6 事務職員

事務局長	岡本 賢介
主任	中川 恵美、小林ノリヨ
係員	新垣 利絵、増田 望、島田美奈代、吉田 麻貴 (R6. 3. 31 退職)
パート職員	三本華余子、山梨楠奈子、八木沼友子
嘱託職員	杉本久美子

代 議 員 名 簿

(令和7年3月代議員選挙終了まで)

会 名	代 議 員	備 考	会 名	代 議 員	備 考
北海道	末 永 智 美		愛知県	細久保 真理子	
	石 川 佳 恵			長 縄 弥 生	
	松 岡 円		三重県	笹 間 滋 代	
青森県	田名辺 裕 子		滋賀県	土 屋 奈 美	
岩手県	大 友 さつき		京都府	吉 本 美 枝	
宮城県	加 藤 みゆき			門 野 節 子	
秋田県	甫 仮 貴 子		大阪府	山 口 千 里	
山形県	村 越 友 子			品 田 和 子	
福島県	山 守 理 真			郡 一 美	
茨城県	岩 村 昌 子			間 狩 みな子	
栃木県	中 村 美智子			米 田 裕 香	
群馬県	長谷川 万 里			兵庫県	高 橋 千 鶴
	本 多 ゆかり		岩 崎 小百合		
埼玉県	大久保 喜恵子		栗 原 知 子		
	荒 井 郷 子		清 水 豊 子		
千葉県	高 澤 みどり		前 中 みつる		
	那 須 啓 子		花 房 千重美		
	榎 本 亜弥子		奈良県	米 田 衣 代	
東京都	藤 山 美 里		和歌山県	山 下 千 穂	
	佐 藤 祥 子		鳥取県	石 井 奈 美	
	佐 藤 静 香		島根県	吉 田 ちかみ	
	大 金 伸 子		岡山県	久 本 千 佳	
	細 田 江美子		広島県	三 好 早 苗	
	川 島 貴 重			渡 邊 礼 子	
神奈川県	打 矢 純 子		山口県	今 田 千恵美	
	岡 本 香		徳島県	河 野 美枝子	
	中向井 政 子		香川県	松 尾 明 美	
山梨県	永 井 鈴 美		愛媛県	川 上 三 紀	
長野県	宮 嶋 典 子		高知県	片 岡 千 香	
	宮 澤 真 弓		福岡県	岡 留 朝 子	
新潟県	薄 波 清 美			松 永 真理子	
	柴 田 佐都子			古 賀 直 子	
富山県	山 田 尚 代		佐賀県	八 木 浩 子	
石川県	須 貝 美 夏		長崎県	岩 本 和 美	
福井県	川 端 登代美		熊本県	越 川 由 紀	
岐阜県	藤 井 重 子			中 村 加代子	
	奥 村 美 雪			中 村 昌 代	
静岡県	森 野 智 子		大分県	有 松 ひとみ	
	土 屋 淳 子		宮崎県	近 藤 泰 子	
愛知県	金 森 いづみ		鹿児島県	下 川 真 弓	
	柴 田 享 子		沖縄県	野 田 直 美	
	水 草 あゆみ				

1) 常任委員会・専門委員会

令和6年3月31日現在

委員会名	委員名
(常任委員会) 生涯研修委員会	◎秋山 恭子 (理事)、○浪岡多津子 (岩手県)、尾形 祐己 (大阪府) 高橋由希子 (福岡県)、畑田 晶子 (大阪府)、木村 有子 (東京)
認定歯科衛生士委員会	◎須山 弘子 (理事)、○水上 美樹 (東京都)、会沢 咲子 (東京都) 青柳三千代 (東京都)、大屋 朋子 (千葉県)、小田 奈央 (東京都) 金子 信子 (大阪府)、小山 圭子 (東京都)、柴田 享子 (愛知県) 柴田 由美 (東京都)、田中 祐子 (東京都)、中岡美由紀 (広島県) 中田 悠 (東京都)、原口 公子 (福岡県)、松本 美佐 (東京都) 小西 由美 (東京都)、児玉 弓子 (東京都)
歯科衛生推進委員会 病院委員会	◎武藤 智美 (常務理事)、○山本 伸子 (滋賀県)、池上由美子 (東京都) 古川由美子 (熊本県)、石井 美和 (兵庫県)、大屋 朋子 (千葉県)
診療所委員会	◎武藤 智美 (常務理事)、○小林 明子 (東京都)、小森 朋栄 (東京都) 渡邊 奈菜 (静岡県)、岩男 好恵 (福岡県)、塩浦 有紀 (東京都)
地域歯科保健委員会	◎長 優子 (理事)、○安部美智野 (島根県)、河野 葉子 (東京都) 玉川 春美 (福島県)、楠田 美佳 (熊本県)、小栗智江子 (愛知県)
教育養成委員会	◎山田小枝子 (理事)、○関口 洋子 (東京都)、菅野 亜紀 (東京都) 鈴木 瞳 (東京都) 諏訪間加奈 (新潟県)、安井真奈美 (岐阜県)
在宅・施設口腔健康 管理委員会	◎村西加寿美 (常務理事)、○篠原 弓月 (東京都)、佐藤 奈美 (山形県) 松尾 由佳 (奈良県)、佐藤 美紀 (静岡県)
災害歯科保健委員会	◎下池 光 (理事)、○水内 志穂 (東京都)、中村 恵奈 (愛知県) 宮脇恵美子 (鹿児島県)、原口 公子 (福岡県)
国際協力委員会	◎河野 章江 (副会長)、○宮澤 絢子 (東京都)、竹之内 茜 (東京都) 藤原奈津美 (徳島県)、松田 悠平 (東京都)、茨木 浩子 (大阪府)
広報委員会	◎島谷 和恵 (常務理事)、○須永 昌代 (東京都)、喜田さゆり (東京都) 北澤 浩美 (東京都)、野口真里子 (埼玉県)
組織委員会	◎石川 博美、○下池 光、長岐 祐子、渡邊 理沙、吉福 美香、松浦あずさ
選挙管理委員会	◎清田 法子 (神奈川県)、○北田つねこ (千葉県)、大塚 則子 (栃木県) 柴田 明美 (埼玉県)、柳瀬 琴江 (東京都)、上原 美里 (長野県) 岡本 直子 (静岡県) 予備委員 原 瑞穂 (栃木県)、福田 尚子 (埼玉県)、植田佐知子 (千葉県) 知念 章子 (東京都)、佐野 孝子 (神奈川県)、原澤 典子 (長野県) 竹内百合子 (静岡県)
表彰審査会	◎高橋 千鶴 (兵庫県)、○重富 澄子 (山口県)、加藤千鶴子 (神奈川県) 難波 佳子 (東京都)、白鳥たかみ (東京都)
(専門委員会) 認定歯科衛生士審査会	秋房 住郎 (日本口腔衛生学会)、下山 和弘 (日本老年歯科医学会) 那須 郁夫 (日本老年歯科医学会)、井上 誠 (日本摂食嚥下リハビリテーション学会) 加賀谷 斉 (日本摂食嚥下リハビリテーション学会)、石井里加子 (日本障害者歯科学会) 立澤 敦子 (日本歯科保存学会)、太田 耕司 (広島大学大学院) 松浦 信幸 (東京歯科大学市川総合病院)、高石 和子 (徳島県) 大久保喜恵子 (埼玉県)、橋場 佳子 (大阪府)
医療連携歯科衛生士委員会	武藤 智美 (常務理事)、池上由美子 (東京都)、大屋 朋子 (千葉県)
「地域歯科衛生活動」 助成事業審査委員会	久保山裕子 (副会長)、長 優子 (理事)、立澤 敦子 (東京都) 大島 克郎 (日本歯科大学東京短期大学)、芦田 慶子 (東京都)
生涯研修プログラム 向上委員会	久保山裕子 (副会長)、河野 章江 (副会長)、石川奈保美 (常務理事) 秋山 恭子 (理事)、須山 弘子 (理事)、山田小枝子 (理事) 水上 美樹 (東京都)
指導者等講習会企画運 営委員会	岡田 昌子 (専務理事) 松本 厚枝 (理事)、上原 弘美 (兵庫県) 大川 直美 (大阪府) 高田橋美幸 (大阪府)、高阪 利美 (愛知県) 小森 朋栄 (東京都)、西村 瑠美 (広島県)、藤原奈津美 (徳島県) 宮澤 絢子 (兵庫県)、今井美季子 (大阪府)

情報セキュリティ委員会	◎河野 章江 (副会長)、岡田 昌子 (専務理事)、根岸 麻理 (常務理事) 島谷 和恵 (常務理事)、阿部 満 (有識者 ITC-EXPERT)
諸規則整備委員会	◎岡田 昌子 (専務理事)、久保山裕子 (副会長)、武藤 智美 (常務理事) 楠田 美佳 (熊本県)、高橋 千鶴 (兵庫県)

◎委員長、○副委員長

2) 日本歯科衛生学会委員会等

委員会名	委員名
学会運営協議会	吉田 幸恵 (学会長)、石川奈保美 (常務理事)、松本 厚枝 (理事) 柴田佐都子 (幹事長)、畠中 能子 (副幹事長)、今井 光枝 (副幹事長) 新井 恵 (幹事)、江口 貴子 (幹事)、藤原奈津美 (幹事)、山村有希子 (幹事) 森野 智子 (第 18 回学術大会長)、江川 広子 (第 19 回学術大会長)
学会幹事会	吉田 幸恵 (学会長)、石川奈保美 (常務理事)、松本 厚枝 (理事) 柴田佐都子 (幹事長)、畠中 能子 (副幹事長)、今井 光枝 (副幹事長) 新井 恵 (幹事)、江口 貴子 (幹事)、藤原奈津美 (幹事)、山村有希子 (幹事)
学術プログラム委員会	吉田 直美 (会長) 吉田 幸恵 (学会長)、石川奈保美 (常務理事) 松本 厚枝 (理事)、柴田佐都子 (幹事長)、畠中 能子 (副幹事長) 今井 光枝 (副幹事長)、新井 恵 (幹事)、江口 貴子 (幹事) 藤原奈津美 (幹事)、山村有希子 (幹事)、江川 広子 (第 19 回学術大会長) 米澤 大輔 (第 19 回準備委員長)
学術表彰選考委員会	木下 淳博 (顧問・東京医科歯科大学教授) 鳥山 佳則 (顧問・東京歯科大学短期大学学長) 宮崎 秀夫 (顧問・新潟大学名誉教授) 吉田 直美 (会長) 吉田 幸恵 (学会長)、岡田 昌子 (専務理事) 石川奈保美 (常務理事)、松本 厚枝 (理事) 柴田佐都子 (幹事長) 畠中 能子 (副幹事長)、今井 光枝 (副幹事長) 新井 恵 (幹事)、江口 貴子 (幹事)、藤原奈津美 (幹事)、山村有希子 (幹事)
学会委員会 企画第一委員会	◎山村有希子 (幹事) ○安達奈穂子、○岩隈 好恵、阿部 智美
企画第二委員会	◎藤原奈津美 (幹事) 松田 悠平、西村 瑠美、西保 亜希、米澤 大輔
編集委員会	◎畠中 能子 (副幹事長) ○新井 恵 (幹事)、○伊藤 奏、○松田 悠平 藤原奈津美 (幹事)、西村 瑠美、白部 麻樹、野口 有紀、森下 志穂
総務委員会	◎江口 貴子 (幹事) ○山中 紗都、川本 亜紀
倫理審査委員会	◎今井 光枝 (副幹事長) ○星合 愛子、大川 由一、鳥山 佳則、関根 透、白石 泰夫、宮武 洋吉 鈴木 瞳、西保 亜希
利益相反委員会	◎今井 光枝 (副幹事長) 鈴木 瞳、西保 亜希、畠中 能子、星合 愛子、鳥山 佳則

◎委員長、○副委員長

令和5年度 第5次生涯研修制度 専門研修開催状況

	歯周治療の基本技術		摂食嚥下機能療法の基本技術		リフレッシュコース		歯科診療所等における医療安全管理対策		周術期等の口腔機能管理		在宅歯科医療の基礎		合計	
	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数
北海道	7	97	8	301	8	208	1	72	3	105	9	506	36	1289
青森県	3	29	1	19	6	92	0	0	0	0	1	21	11	161
岩手県	0	0	0	0	2	81	1	34	0	0	0	0	3	115
宮城県	0	0	0	0	4	125	0	0	1	51	1	20	6	196
秋田県	0	0	0	0	1	35	0	0	1	33	0	0	2	68
山形県	4	112	0	0	5	111	0	0	0	0	5	120	14	343
福島県	1	37	1	61	2	70	0	0	1	42	0	0	5	210
茨城県	2	74	0	0	5	221	1	70	0	0	1	53	9	418
栃木県	3	180	2	70	3	111	1	84	0	0	0	0	9	445
群馬県	3	173	1	19	12	343	2	45	1	77	1	49	20	706
埼玉県	1	13	3	64	10	428	0	0	0	0	1	36	15	541
千葉県	0	0	1	20	5	141	0	0	1	43	0	0	7	204
東京都	12	220	5	231	12	524	4	97	2	33	7	114	42	1219
神奈川県	1	54	2	95	11	389	1	44	1	65	3	144	19	791
山梨県	0	0	1	43	4	106	1	38	0	0	0	0	6	187
長野県	10	311	3	182	3	63	1	37	2	82	0	0	19	675
新潟県	1	22	2	40	6	109	1	25	0	0	5	151	15	347
富山県	1	40	2	83	1	32	0	0	0	0	3	83	7	238
石川県	0	0	1	25	3	88	0	0	1	35	0	0	5	148
福井県	2	88	1	34	2	42	0	0	0	0	0	0	5	164
岐阜県	0	0	5	136	3	113	1	18	0	0	8	234	17	501
静岡県	1	51	3	101	2	101	0	0	1	31	2	91	9	375
愛知県	6	159	6	256	7	255	1	38	0	0	7	294	27	1002
三重県	4	189	2	41	10	305	0	0	1	2	0	0	17	537
滋賀県	2	52	2	77	6	191	0	0	1	54	3	64	14	438
京都府	2	52	2	94	1	22	4	62	0	0	3	83	12	313
大阪府	6	107	8	322	14	588	0	0	1	16	12	434	41	1467
兵庫県	4	129	2	35	23	775	2	44	1	22	3	230	35	1235
奈良県	1	19	0	0	5	120	1	22	1	18	1	23	9	202
和歌山県	4	129	1	46	4	56	1	43	1	43	2	42	13	359
鳥取県	4	55	0	0	0	0	1	19	0	0	0	0	5	74
島根県	1	26	0	0	8	136	0	0	0	0	2	47	11	209
岡山県	1	8	10	102	6	166	4	116	2	68	6	172	29	632
広島県	5	118	2	89	7	154	2	69	0	0	12	213	28	643
山口県	0	0	1	4	3	63	0	0	0	0	1	4	5	71
徳島県	2	63	1	29	6	128	1	16	2	61	2	52	14	349
香川県	1	31	2	77	5	167	0	0	0	0	1	36	9	311
愛媛県	6	177	3	107	7	175	2	18	1	90	1	9	20	576
高知県	2	25	0	0	4	64	0	0	1	22	8	174	15	285
福岡県	5	208	2	117	7	171	0	0	1	44	2	89	17	629
佐賀県	13	18	1	9	5	140	0	0	0	0	2	53	21	220
長崎県	0	0	2	30	4	88	0	0	4	151	1	58	11	327
熊本県	3	140	0	0	7	256	0	0	0	0	1	54	11	450
大分県	2	64	1	57	3	77	0	0	0	0	2	93	8	291
宮崎県	2	56	1	27	6	147	0	0	1	23	2	43	12	296
鹿児島県	6	337	0	0	4	270	0	0	1	60	0	0	11	667
沖縄県	4	83	5	149	4	68	0	0	0	0	1	10	14	310
合計	138	3,746	96	3,192	266	8,115	34	1,011	34	1,271	122	3,899	690	21,234

令和5年度 都道府県歯科衛生士会への研修支援 開催状況

令和6年3月31日 生涯研修委員会

	都道府県名	コンテンツ名	開催日	会員	会員外
北海道・東北	北海道	規格性のあるX線写真から読みとれること	令和5年11月12日	8	0
		歯周病アップデート2023	令和5年11月25日	6	0
	青森県	災害歯科保健	令和5年8月27日	18	0
	岩手県	歯科における子どもの食育と口腔機能発達不全症への対応	令和5年9月24日	32	0
	宮城県	う蝕と歯周病の予防と管理に必要な最新情報	令和5年8月27日	16	0
	山形県	歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識	令和5年6月25日	18	0
歯科衛生士が知っておきたいホワイトニングの知識		令和5年7月9日	19	0	
関東信越	茨城県	口腔衛生指導と生活習慣指導	令和6年1月14日	21	0
	栃木県	歯周病アップデート2023	令和5年9月3日	61	0
		歯科衛生士が知っておくべきくすりの知識	令和5年12月3日	16	4
	埼玉県	災害歯科保健	令和5年4月16日	50	0
	東京都	歯科衛生士が知っておくべきくすりの知識	令和5年11月5日	56	4
	山梨県	う蝕と歯周病の予防と管理に必要な最新情報	令和5年12月10日	17	7
		歯科衛生士が知っておくべきくすりの知識	令和6年1月21日	28	0
長野県	歯周病アップデート2023	令和5年5月21日	35	0	
	摂食嚥下リハビリテーションを学ぼう！	令和5年7月9日	20	0	
東海北陸	富山県	歯科衛生士が知っておくべきくすりの知識	令和5年8月27日	20	12
	石川県	歯科医院の接遇と好感度アップ	令和5年5月28日	20	0
		これでわかる！周術期等口腔機能管理	令和5年8月6日	33	2
	福井県	歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識	令和5年5月21日	24	0
		歯科衛生士が知っておくべきくすりの知識	令和6年2月18日	18	0
三重県	歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識	令和5年5月21日	48	9	
近畿	滋賀県	SPT・メンテナンスに必要な知識と技術	令和5年12月24日	20	3
	奈良県	これでわかる！周術期等口腔機能管理	令和5年5月14日	18	0
		歯科衛生士が知っておくべきくすりの知識	令和5年10月29日	23	0
	大阪府	う蝕と歯周病の予防と管理に必要な最新情報	令和5年11月5日	32	2
和歌山県	歯科医院の接遇と好感度アップ	令和5年7月23日	20	9	
中国四国	鳥取県	歯周病アップデート2023	令和5年8月6日	13	0
		超高齢社会に求められる歯周病予防と治療	令和5年10月22日	12	0
	島根県	歯科衛生士が知っておきたいホワイトニングの知識	令和6年2月8日	6	3
	岡山県	災害歯科保健	令和5年6月25日	27	0
	山口県	歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識	令和6年1月14日	16	0
	高知県	歯科医院の接遇と好感度アップ	令和5年6月18日	22	0
香川県	検査と評価	令和5年5月21日	31	0	
九州	福岡県	歯科医院の接遇と好感度アップ	令和5年9月3日	4	2
		歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識	令和6年1月14日	14	8
	佐賀県	医療面接2	令和5年6月11日	9	0
	長崎県	歯科医院の接遇と好感度アップ	令和5年6月17日	22	1
		歯科衛生士に必要な業務記録の書き方	令和6年2月4日	20	3
	熊本県	災害歯科保健	令和5年7月2日	24	0
	大分県	医療面接2	令和5年10月15日	10	1
	宮崎県	歯科における子どもの食育と口腔機能発達不全症への対応	令和5年7月23日	22	0
沖縄県	災害歯科保健	令和5年7月9日	16	0	
計	32都道府県会		52回	965	70
				1,035	

	登録者数	日衛会会員	日衛会会員外
北海道	175	120	55
青森県	30	25	5
岩手県	55	42	13
宮城県	77	57	20
秋田県	20	16	4
山形県	57	24	33
福島県	37	31	6
茨城県	82	31	51
栃木県	83	74	9
群馬県	71	58	13
埼玉県	236	123	113
千葉県	193	119	74
東京都	432	200	232
神奈川県	256	162	94
新潟県	92	55	37
富山県	26	21	5
石川県	35	28	7
福井県	29	25	4
山梨県	50	35	15
長野県	93	82	11
岐阜県	76	61	15
静岡県	148	103	45
愛知県	239	143	96
三重県	142	70	72
滋賀県	53	46	7
京都府	80	55	25
大阪府	289	207	82
兵庫県	317	208	109
奈良県	52	41	11
和歌山県	24	22	2
鳥取県	31	30	1
島根県	31	26	5
岡山県	86	76	10
広島県	171	142	29
山口県	37	27	10
徳島県	109	63	46
香川県	85	55	30
愛媛県	38	31	7
高知県	19	18	1
福岡県	190	153	37
佐賀県	60	36	24
長崎県	46	42	4
熊本県	58	46	12
大分県	50	41	9
宮崎県	22	21	1
鹿児島県	41	34	7
沖縄県	38	30	8
小計	4661	3155	1506
未入力	2	2	0
合計	4663	3157	1506

地区	登録者数	日衛会会員	日衛会会員外
北海道・東北	451	315	136

関東信越	1588	939	649
------	------	-----	-----

東海北陸	695	451	244
------	-----	-----	-----

近畿	815	579	236
----	-----	-----	-----

中国四国	607	468	139
------	-----	-----	-----

九州	505	403	102
小計	4661	3155	1506

参考資料 5

特別研修指定研修会

- 1 株式会社デンタルダイヤモンド社 DH-KEN・WEB 講演会 (LIVE)
 - ・ Let's ホワイトニングアドバンス 症例から学ぶ成功への勘所
 - ・ 歯周病アップデートアドバンス 全身疾患との関わりと歯周基本治療のポイント
 - ・ インプラントメンテナンスアドバンス ープロであるために必要な知識とスキルー
 - ・ 規格性のある X 線写真から読みとれることアドバンス
- 2 クインテッセンス出版株式会社
第 9 回日本国際歯科大会 2023
(World Young Dental Innovators' Meeting 2023 併催)
- 3 一般社団法人東京医科歯科大学歯科同窓会 C.D.E. (Continuing Dental Education)
- 4 東京医科歯科大学病院歯科衛生士総合研修センター
基礎技術修練 ①訪問診療・周術期管理コース
②口腔衛生指導・超音波スケーリングコース
③歯周治療の診療補助コース
- 5 大阪歯科大学医療保健学部歯科衛生士研修センター 2023 年度公開セミナー
- 6 学際企画株式会社 効率的・効果的な口腔衛生管理のための口腔咽頭吸引実習
- 7 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター
令和 5 年度第 2 回公開シンポジウム「歯科衛生士の展望と課題」

令和5年 第5次生涯研修制度 修了者数

R5.12.31

	(1) 基本研修						(2) 特別研修	(3) 指定研修	合計
	歯周治療の 基本技術	摂食嚥下 機能療法の 基本技術	リフレッシュ コース	歯科診療所等 における医療 安全管理対策	周術期等の 口腔機能管理	在宅歯科医療 の基礎			
北海道	5	7	4	2	0	16	1	0	35
青森県	0	0	0	0	0	4	0	0	4
岩手県	0	0	1	0	0	0	1	0	2
宮城県	3	0	10	0	0	3	1	0	17
秋田県	1	0	2	0	0	0	0	0	3
山形県	2	1	1	0	0	0	1	0	5
福島県	1	2	1	0	1	0	1	0	6
茨城県	2	0	5	0	0	7	1	1	16
栃木県	5	2	1	1	0	1	0	0	10
群馬県	4	0	7	1	0	4	0	0	16
埼玉県	2	2	10	1	0	0	2	0	17
千葉県	2	6	10	0	0	0	5	0	23
東京都	14	2	19	2	5	4	10	1	57
神奈川県	6	1	10	1	1	11	4	0	34
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	11	4	1	0	0	1	0	0	17
新潟県	0	1	6	0	1	2	5	0	15
富山県	1	0	0	0	0	0	1	0	2
石川県	0	0	3	0	0	0	3	1	7
福井県	1	1	1	0	0	1	0	0	4
岐阜県	0	4	3	0	0	2	2	0	11
静岡県	2	7	4	1	0	0	4	0	18
愛知県	7	16	9	1	0	8	9	1	51
三重県	6	5	10	0	0	1	3	0	25
滋賀県	3	0	4	0	0	0	2	1	10
京都府	4	2	5	0	0	0	2	1	14
大阪府	6	4	11	1	1	14	7	4	48
兵庫県	2	0	26	0	1	12	8	0	49
奈良県	1	1	5	0	1	1	2	0	11
和歌山県	3	1	1	2	0	1	1	0	9
鳥取県	3	0	3	0	0	0	1	0	7
島根県	0	1	3	0	0	2	1	0	7
岡山県	2	1	0	0	0	8	2	0	13
広島県	3	3	4	1	0	2	4	0	17
山口県	0	0	1	0	0	1	1	0	3
徳島県	3	1	0	0	1	1	0	1	7
香川県	2	2	4	0	0	0	0	1	9
愛媛県	1	2	8	0	0	0	1	0	12
高知県	3	1	3	0	0	10	0	0	17
福岡県	10	7	7	0	2	4	0	1	31
佐賀県	0	0	3	0	0	0	0	0	3
長崎県	1	1	3	0	0	0	4	0	9
熊本県	0	0	3	0	0	2	1	0	6
大分県	1	1	0	0	0	0	2	0	4
宮崎県	1	1	6	0	0	1	0	0	9
鹿児島県	9	0	3	0	0	0	1	0	13
沖縄県	1	1	2	0	0	1	1	0	6
合計	134	91	223	14	14	125	95	13	709

参考資料7

令和5年度 認定歯科衛生士登録者名簿

【認定分野A】生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修) 38名

会名	氏名
北海道	溝口 範子
	太田 繭子
青森県	濱田 咲美
	石田 菜穂子
	木村 寿子
	山口 景子
岩手県	高橋由紀子
宮城県	山田 桂子
秋田県	齋藤友里奈
埼玉県	藤澤 時枝
	秋山 恭子
東京都	丸山 千春
	中根 圭子

会名	氏名
東京都	山本 綾
	小木曾真弥
	山田 麻央
	野村 有紀
	松本 明子
新潟県	西山真紗美
岐阜県	西田 里美
	宮崎 玲菜
愛知県	細久保真理子
	岩瀬 賀恵
	松井明日香
三重県	村田 恵
兵庫県	大川 直美

会名	氏名
兵庫県	占部 美由
和歌山県	阿部 洋美
岡山県	宇佐美美里
広島県	村川 善子
山口県	奥野 奈々
	井手上益実
香川県	星川 明子
	前田 陽子
愛媛県	河本裕美子
熊本県	永江 千晃
鹿児島県	糸田 彩佳
大分県	赤峰 美鈴

【認定分野A】摂食嚥下リハビリテーション

37名

会名	氏名
宮城県	人見 早苗
埼玉県	内川 美子
	川部 和美
東京都	岡本和佳子
	長井 昌子
	小林 典子
山梨県	内藤 礼子
	小林かおり
神奈川県	橋本 華代
	大西 道子
長野県	小澤 智里
	弓田 美里
新潟県	鈴木 幸

会名	氏名
愛知県	朝倉 美恵
	中村 真弓
	松岡久美子
	近藤 明子
岐阜県	松原 恵子
	藤木さやか
	浅川 瑛子
京都府	相原 直子
	高平 永実
大阪府	清水 未衣
	坂井 千春
	湯浅 正子
	和田 美保

会名	氏名
大阪府	北村 垂矢
	小林 和枝
兵庫県	山岸 友加
岡山県	戸川 靖代
広島県	須賀 祥子
徳島県	高力 友子
福岡県	安部真由美
	松岡 友子
熊本県	森 有紀子
宮崎県	佐々木美鈴
大分県	細川 輝美

【認定分野A】在宅療養指導・口腔機能管理

44名

会名	氏名
北海道	阿部 艶
青森県	伊勢 一美
岩手県	佐々木弘子
宮城県	千葉 美織
長野県	藤井 直美
石川県	出村 友美
	水口 祐子
群馬県	石原 梨映
東京都	丸山 裕美
	樋口 砂織
	山中 由美
	福島 五月
	田口 知実
	伊藤佐和美
神奈川県	綿家実千代

会名	氏名
神奈川県	池田千亜紀
	小倉 佳子
	一戸 千種
	秦 智子
	中向井政子
山梨県	阿部 裕子
静岡県	鈴木 美穂
	新城 玲子
愛知県	酒井 美穂
	都築 裕代
	安樂 明美
	河村 康子
大阪府	徳留 美緒
	椿本さおり
	小田優理子

会名	氏名
大阪府	鈴木 起子
	奥田 理芳
	宮前 真帆
京都府	田中 絵美
奈良県	井上 歩
兵庫県	松田 梅香
	竹中 美穂
	井口 晶子
	白木 愛子
島根県	山本 香織
島根県	吉田ちかみ
岡山県	柴田 恵子
広島県	奥河 知恵
山口県	山本 厚美

【認定分野A】糖尿病予防指導

会名	氏名
北海道	梶田 珠美
	岩崎 美保
青森県	齋藤真紀子
宮城県	皆川ゆきの
埼玉県	秋山 千枝
	松田 玉奈
	高橋 裕美
千葉県	土橋 陽子
東京都	大原 文子
	水野 淳乃
	塚谷 直美
	長谷川和代
神奈川県	二見 彩香
	荒川 朋夏
山梨県	若月 恵美

会名	氏名
長野県	吉川由紀子
	築田美由紀
	高崎 裕美
	今瀬かおり
岐阜県	近藤 康代
静岡県	澤田寿恵子
	鈴木 清美
愛知県	小山志保美
三重県	近藤三千代
京都府	橋本 仁美
大阪府	吉本 美枝
	柴田 史江
	横田 忍
和歌山県	中西 優実
	村田 敬枝

43名

会名	氏名
兵庫県	岩倉 佳恵
	池田 恵理
	宮澤 絢子
岡山県	矢吹恵美子
	太田 正美
広島県	藤原 千尋
	和田 恵美
徳島県	藤倉 みき
熊本県	中村加代子
	金子 優子
大分県	阿南 智子
鹿児島県	益満由紀子
	小林由佳梨

【認定分野A】医科歯科連携・口腔機能管理

会名	氏名
北海道	武田 貴子
茨城県	持田 雄子
埼玉県	佐藤 康子
千葉県	石川 由美
東京都	上田 美妃
	北村 侑美
	小澤 晴菜

会名	氏名
東京都	中田 悠
神奈川県	中村 絵美
福井県	佐野 朝美
愛知県	都筑亜矢子
大阪府	友田 直美
	香田 文
	時数 智子
広島県	

21名

会名	氏名
愛媛県	尾澤みなみ
香川県	大藪 香里
福岡県	浪辺 陽子
	阪本 匡子
	川上 恵美
鹿児島県	尾辻美奈子
	新村 美恵

【認定分野A】歯科医療安全管理

会名	氏名
青森県	竹内 祐子
宮城県	佐藤 美悠
	小松 美保
	三浦 静香
福島県	新妻 香
群馬県	村田 隆子
埼玉県	肥沼 順子
	鶴間美由紀
	鳴海 広美
	益子 路子
	細田 久子
神奈川県	渡邊 月子

会名	氏名
神奈川県	越智 徳子
長野県	高野富美子
	島田 美香
新潟県	伊藤 鮎美
岐阜県	藤井 重子
愛知県	加辻 美紀
	恩田千代恵
	原田 菜摘
	八柳 春菜
大阪府	倉本 裕子
京都府	福田 裕子
奈良県	林田真理子

34名

会名	氏名
岡山県	三浦 留美
徳島県	岡本 知美
	笹川久美子
愛媛県	近藤真由美
	川上 三紀
香川県	戸田 知美
福岡県	秋吉 知美
	辻 恵子
	原田 文子
宮崎県	田中美佑紀

【認定分野B】障害者歯科

会名	氏名
茨城県	山井 美香
群馬県	楠 幸代
	佐藤 瑞樹
埼玉県	安藤 涼佳
東京都	大塚 菜月
	寺尾 香織
	上村 美月
神奈川県	竹内 優佳
	安田 昌代

会名	氏名
新潟県	赤柴 絵美
	井上 麗奈
愛知県	伊藤しのぶ
	今野めぐみ
	鈴木香保利
	本多 陽子
	藤田 紀江
	永坂 梨奈
大阪府	藤田真奈美

25名

会名	氏名
京都府	田村 優
奈良県	河井なつみ
	渡部梨々花
広島県	沖野 恵梨
香川県	大西 香織
熊本県	徳美 愛
大分県	内尾 千夏

【認定分野B】老年歯科

4名

会名	氏名
神奈川県	橋本 富美
愛知県	佐藤 穂香
岡山県	坪井 千夏
福岡県	塚本 葉子

【認定分野B】地域歯科保健

1名

会名	氏名
東京都	嵯峨山希美

【認定分野B】口腔保健管理

2名

会名	氏名
静岡県	佐久間 愛
徳島県	松村 佑季

【認定分野B】う蝕予防管理

会名	氏名
北海道	十河絵留美
	幌岩奈々美
岩手県	太田 瑞穂
秋田県	長岐 祐子
福島県	齋藤 理恵
新潟県	筒井 紀子
	植木麻有子
千葉県	江口 貴子
	御園 瞳
東京都	足達 淑子
	清水千津子
	安達奈穂子
	坂口 由季
	釘持 郁
	渡邊奈奈江
	柳岡 郁世
	相澤真奈美
	武藤 晃子
	アルマリキ早紀

会名	氏名
東京都	相馬 里穂
	白石 瑞貴
	金子 瑠美
	志村 明美
	佐野 優穂
山梨県	金丸 亜弥
岐阜県	西田 理恵
	市川 友香
	岩本 実袖
	阿部 羽蘭
	竹内 詩織
	松尾実乃里
	石木 優衣
	牧野 桜
	栗山 陽菜
	井原 和美
	松田 晴加
	安田 奈央
	小澤 七海

55名

会名	氏名
岐阜県	森島 亜未
静岡県	市野 史乃
	松本 葵
大阪府	植田 忍
	西村 優衣
	小嶋麻里子
	松井 美結
	國嶋 愛美
	黒川英里沙
	千葉 規子
	天谷 棕子
	石田 菜摘
	奈良県
岡山県	吉田 陽子
徳島県	澤口由美子
香川県	木村 春花
福岡県	星山 怜花

【認定分野C】研修指導者・臨床実地指導者

会名	氏名
宮城県	小松 美保
秋田県	長岐 祐子
新潟県	高田 綾美
石川県	越田 美和
	槇野 莉沙
	塚本 暁子
東京都	北澤 浩美
	成田祐貴子

会名	氏名
山梨県	若月 恵美
静岡県	鈴木 明美
岐阜県	高松磨由子
愛知県	加藤 典子
	田中 恵
三重県	一尾 智郁
大阪府	松本 真紀
	西村由貴子

23名

会名	氏名
大阪府	香田 文
京都府	黒田 伸子
奈良県	武田 好美
和歌山県	山東 理沙
広島県	栞原 里美
	築尾 慈子
徳島県	石川 英子

令和5年度「地域歯科衛生活動」事業助成 報告

No.	都道府県名	事業名	実施日数	実施人数 参加者数	実施施設 (会場)数 対象施設数	従事者数			その他内訳
						歯科衛生士	歯科医師	その他	
1	岩手県 歯科衛生士会	(7)食育推進事業 子どもの食べる力を育む口腔機能向上普及啓発事業	35	144	4	40	3	4	言語聴覚士
2	山形県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業 自立支援型ケア会議助言の充実に向けた支援事業 ～通所サービスにおける口腔ケア充実推進事業～	22	279	5	11		35	施設管理者、悔悟福祉士、看護師、地域包括職員等
3	群馬県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業 高齢者のオーラルフレイル予防事業	10	168	10	30	1	10	自治会ボランティア、民生委員、保健師、看護師等
4	埼玉県 歯科衛生士会	(5)障害(児)者歯科保健事業 聴覚障がい者、ろう重複障がい者への口腔衛生指導および口腔機能向上を目的とした支援事業	5	67	3	25	2	-	
5	滋賀県 歯科衛生士会	(5)障害(児)者歯科保健事業 障害者通所施設の利用者・家族および支援者の健口支援事業	100	2,113	100	202	-	-	
6	和歌山県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健推進事業 こども食堂における歯科健康教育活動	3	98	3	39	-	3	こども食堂運営者
7	岡山県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健推進事業 地域歯科衛生イベントに学生会員参加を促し地域歯科保健に貢献する	9	404	9	17	-	2	手話講師、手話通訳士
8	山口県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業 やるっちゃ山口！口腔衛生令和維新！ STEP-1	10	11	1	23	2	-	
9	愛媛県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業 歯科口腔保健による地域支援活動事業	5	97	5	12	-	-	
10	大分県 歯科衛生士会	(8)多職種連携・協働による歯科口腔保健推進事業 地域包括ケアにおける社会資源としての口腔ケアステーション設置事業	88	179	6	86	-	2	管理栄養士
計			287	3560	146	延べ485	延べ8	延べ56	

参考資料9

ブロック	開催日時	形式・人数	内 容	派遣役員
北海道・東北 (山形県)	連絡協議会 R5.11. 4 (土) 15:00~17:00	集合開催 24名	・日本歯科衛生士会情報提供 ・協議事項 ①公衆衛生活動等の各県の取り組みや周知方法 ②人材発掘と育成について ③組織拡大についての取り組み ④会員減少の防止策 ・情報交換 ①各道県の活動報告 ②各道県からの質問、情報交換	会長 吉田 直美 専務理事 岡田 昌子 理事 長岐 祐子
	ブロック研修 R5.11. 5 (日) 10:00~12:00	集合開催 21名	・講演「入会促進のために」 70分 一般社団法人日本イベント産業振興協会 認定研究員 小田部 英勝氏 ・グループワーク	専務理事 岡田 昌子 理事 長岐 祐子
関東信越 (山梨県)	連絡協議会 R5.10. 29 (日) 9:30~12:30	集合開催 30名	・日本歯科衛生士会情報提供 ・協議事項 ①派遣事業の手数料について ②歯科衛生士会における法人格取得におけるメリット、デメリットについて ③各派遣依頼(オーラルフレイル、介護予防事業等)への人材育成について ④コロナ感染 令和5年5月8日から5類感染症に移行後の研修会状況 ⑤新入会員への地域事業担当依頼について ⑥行政への要望書提出について ⑦行政に歯科衛生士の配置を促進させるための取り組みについて ⑧歯科衛生士会事務局の運用費について ⑨歯科衛生士の志願者を増やす取り組み ⑩新入会員を増やすとともに、退会者を防ぐための取り組みについて ⑪歯科衛生士会が主体として行っている事業の実施状況について ⑫国保事業での特定健診や結果報告の際に歯科口腔保健指導事例 ⑬国民皆歯科健診に向けて、歯科衛生士の保健指導の技術向上対策 ⑭働き盛りの世代を対象とした歯周病予防の啓発活動の工夫点 ⑮災害時の安否確認に使用しているツールと安否確認のタイミングについて ⑯無関心期の働き盛り世代が歯科医院に受診しようと思いきっかけとなる取り組み ⑰大学・専門学生のむし歯・歯肉炎のない健康な歯を維持するための取り組み ⑱県の衛生士会入会手続きについて ⑲ホームページの管理・運営について	会長 吉田 直美 専務理事 岡田 昌子 理事 石川 博美
	ブロック研修 R5.10. 29 (日) 13:30~16:00	集合開催 36名	・講演「入会促進のために」70分 一般社団法人日本イベント産業振興協会 認定研究員 小田部 英勝氏 ・グループワーク・発表(6グループ編成) 入会促進対象ごとに、アイデアを出し合い取組について検討 ・次期開催県会長挨拶 長野県歯科衛生士会会長 宮嶋典子氏	専務理事 岡田 昌子 理事 石川 博美
東海北陸 (愛知県)	連絡協議会 R5.11. 19 (日) 10:00~12:00	集合開催 25名	・日本歯科衛生士会情報提供 ①専門歯科衛生士制度について ②学会の活動について ③就労支援について ④厚労省への本会の要望書について ⑤情報セキュリティに関する取り組み ⑥常勤理事の採用について ⑦国際交流活動 ⑧災害歯科保健歯科衛生士登録者状況 ・東海北陸ブロックより日本歯科衛生士会への質問・要望に対する回答 ・組織委員会より情報提供 ・質疑応答 ・次期開催県会長挨拶 石川県歯科衛生士会会長 須貝美夏氏	副会長 河野 章江 専務理事 岡田 昌子 理事 渡邊 理沙
	ブロック研修 R5.11. 19 (日) 12:00~15:00	ハイブリット 23名	・講演「入会促進のために」70分 一般社団法人日本イベント産業振興協会 認定研究員 小田部 英勝氏 ・グループワーク ① 新卒者・復職者・診療所等で働く未入会歯科衛生士に対して入会促進に向けて新しいアイデアや今行っていることでバージョンアップできることをグループで出し合う。	専務理事 岡田 昌子 理事 渡邊 理沙

ブロック	開催日時	形式・人数	内 容	派遣役員
			<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク ② そのアイデアを実現するためには？「深めてみたいもの」について、ワークシート②に沿ってディスカッションする。 ・全体発表 1グループ「発表3分+意見2分」、発表係は「ワークシート②」をZoomの画面共有で参加者全員と供覧しながら4グループが発表する。 ・総括・所感 	
近畿 (奈良県)	連絡協議会 R5.11. 26 (日) 10:00～12:00	集合開催 24名	<ul style="list-style-type: none"> ・日本歯科衛生士会情報提供 ・報告事項 ①歯科診療所・地域包括支援センターにおける認知症対応調査及び事例報告書 兵庫県歯科衛生士センター創立3周年記念 報告書 ②第48回通常総会開催 役員改選、定款改正(京都府) ③定期総会開催 定期総会 設立50周年記念事業・記念式典(和歌山県) ④定時総会開催 役員改選 (大阪府) ⑤定時総会開催 創立60周年法人化10周年記念式典事業開催 (滋賀県) ⑥定時総会開催 役員改選 (奈良県) ⑦令和4年度 近畿ブロック連絡協議会会計報告 ・協議事項 ①ブロック連絡協議会連絡強化費の用途について ・情報交換 ①新卒新入会員及び歳入会会員の入会金について新たに情報交換を行った ・その他 ①次年度ブロック連絡協議会開催日について ②歯科衛生士の事業単価についての考え方 ・次期開催県挨拶 兵庫県歯科衛生士会 会長 高橋千鶴氏 	会長 吉田 直美 理事 吉福 美香
	ブロック研修 R5.11. 26 (日) 13:00～15:30	集合開催 40名	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「入会促進のために」70分 一般社団法人日本イベント産業振興協会 認定研究員 小田部 英勝氏 ・グループワーク ・発表 まとめ 	会長 吉田 直美 理事 吉福 美香
中国四国 (山口県)	ブロック研修 R5.10. 21 (土) 15:30～18:00	集合開催 28名	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「入会促進のために」70分 一般社団法人日本イベント産業振興協会 認定研究員 小田部 英勝氏 ・グループワーク 会員拡大、組織活動活性化について まとめ 	会長 吉田 直美 理事 松浦あずさ
	連絡協議会 R5.10. 22 (日) 9:00～12:00	集合開催 28名	<ul style="list-style-type: none"> ・日本歯科衛生士会情報提供 ア.災害支援経験者による講演 テーマ:「災害支援活動の経験から」 講師名:清水香織先生 所 属:山口県歯科衛生士会 イ.協議事項 ①準備・検討すべき事項の抽出 ②各県での改善・更新すべき事項の検討(県単位) ③発表 ④その他 ・次期開催県会長挨拶 徳島県歯科衛生士会会長 河野美枝子氏 	会長 吉田 直美 理事 松浦あずさ
九州 (沖縄県)	連絡協議会 R5.12. 16 (土) 15:30～18:10	集合開催 30名	<ul style="list-style-type: none"> ・日本歯科衛生士会情報提供 ・組織委員会報告事項 ・協議事項 ①令和4年度事業報告(案)並びに収支決算(案)について ②令和5年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について ③次年度九州ブロック連絡協議会及び研修会日程について ④組織率を上げるためには ⑤専門性歯科衛生士に向け、各会が出来ることについて ・照会事項 日本歯科衛生士会からの情報提供に関する事 	会長 吉田 直美 理事 下池 光
	ブロック研修 R5.12. 17 (日) 10:00～12:00	集合開催 28名	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「入会促進のために」70分 一般社団法人日本イベント産業振興協会 認定研究員 小田部 英勝氏 ・グループワーク 会員拡大、組織活動活性化について まとめ 	会長 吉田 直美 理事 下池 光

令和5年度日本歯科衛生士会会長表彰者

功 勞 賞

*会員歴30年以上、役員歴が日本歯科衛生士会・都道府県歯科衛生士会を併せて10年以上ある者

石田 菜穂子 (青森県)	田名辺 裕子 (青森県)	山口 柳子 (秋田県)
末廣 かなえ (山形県)	竹中 京子 (茨城県)	芹澤 鏡子 (茨城県)
春日 圭子 (茨城県)	星野 小百合 (栃木県)	落合 美穂 (埼玉県)
根岸 麻理 (東京都)	伊藤 由美香 (山梨県)	宮浦 朗子 (石川県)
虎尾 裕美 (福井県)	渡瀬 恵子 (三重県)	谷口 篤子 (滋賀県)
中山 浩美 (滋賀県)	上原 弘美 (兵庫県)	花田 浩美 (和歌山県)
森川 千尋 (和歌山県)	小谷 弘美 (鳥取県)	岸本 真紀 (鳥取県)
杉山 珠美 (岡山県)	山本 春江 (広島県)	島本 富世 (福岡県)
猪野 恵美 (長崎県)	比嘉 香恵子 (沖縄県)	志喜屋 やよい (沖縄県)
上原 生子 (沖縄県)		(28名)

永年精励賞

*会員歴35年以上であって、年齢65歳以上の者

今村 理子 (北海道)	三原 睦子 (青森県)	長澤 寿満子 (秋田県)
鈴木 初枝 (福島県)	安斎 典子 (福島県)	石塚 英子 (茨城県)
新井 節子 (茨城県)	入山 久美子 (群馬県)	亀井 厚子 (群馬県)
長谷川 万里 (群馬県)	最首 祐子 (千葉県)	久保 理枝 (千葉県)
和田 昭子 (千葉県)	山崎 典子 (千葉県)	石橋 悦子 (千葉県)
佐藤 伸子 (東京都)	大野 博子 (東京都)	近藤 圭子 (東京都)
杉崎 博美 (東京都)	安田 加代子 (東京都)	瀬戸 純子 (東京都)
奈良 とみ子 (東京都)	野口 昭美 (神奈川県)	田邊 正子 (長野県)
岡部 こず枝 (福井県)	水野 智子 (岐阜県)	清水 れい子 (岐阜県)
花井 安規子 (静岡県)	鳥山 貴子 (愛知県)	谷口 篤子 (滋賀県)
湯浅 妙子 (京都府)	岩間 康子 (大阪府)	小川 由紀子 (大阪府)
小高 則子 (大阪府)	戸田 ちか子 (大阪府)	中井 眞三子 (大阪府)
安田 美栄子 (大阪府)	宮本 美千子 (大阪府)	上田 和美 (兵庫県)
都倉 美佐代 (兵庫県)	萬代 昌代 (兵庫県)	二神 真由美 (兵庫県)
河村 省子 (兵庫県)	牧野 美佐代 (和歌山県)	奥野 房代 (和歌山県)
恵中 恵子 (和歌山県)	横山 多恵子 (鳥取県)	杉原 一枝 (島根県)
高橋 悦子 (島根県)	蒲田 治子 (広島県)	長谷川 励子 (広島県)
中河原 みどり (広島県)	豊田 美由貴 (広島県)	吉田 幸子 (徳島県)
岩佐 鈴子 (徳島県)	関 あかね (愛媛県)	清家 茂代 (愛媛県)
日野 里美 (愛媛県)	片岡 千香 (高知県)	伊東 泰子 (福岡県)
福田 朝子 (福岡県)	黒田 直美 (福岡県)	山下 知子 (福岡県)
橋辺 洋子 (福岡県)	山口 とき子 (長崎県)	半澤 佳子 (長崎県)
原 陽子 (長崎県)	小原 美奈子 (熊本県)	逢坂 佐恵子 (熊本県)
高柳 徳子 (熊本県)		(70名)

令和6年度予算・制度などに関する要望について

令和6年度予算等に関する要望書をとりまとめ、厚生労働省および関係方面に提出した。

令和6年度予算・制度などに関する要望について

我が国における少子高齢社会の急速な進展のなか、人生100年時代における地域包括ケアシステムの構築が進められ、新たなニーズに対応した歯科保健医療の提供が求められています。その中で、医科歯科連携や介護連携における多職種と協働した歯科衛生士による口腔健康管理の重要性が認知され、歯科衛生士業務の多様化・高度化が進んでいます。さらに、歯科口腔保健の推進に関する法律のもと、すべてのライフステージにおける歯科疾患予防による口腔の健康維持の施策が進められており、加えて、昨年政府の骨太の方針として国民皆歯科健診の具体的検討が示されたことから、国民の健康維持・増進における歯科衛生士の役割と質の高いサービス提供が一層重要になっております。また、新型コロナウイルス感染症への対応が始まって3年半が経過し、感染状況が落ち着き、WHOが緊急事態宣言の終了を発表しましたが、今後も様々な感染症に対応できる安心安全な歯科保健医療提供体制への歯科衛生士の寄与が求められます。

このように歯科衛生士への高いニーズがあるにもかかわらず、多様かつ高度な役割に対応できる歯科衛生士の育成・確保が追いついておらず、慢性的な人材不足の状況が継続しております。今後の歯科保健医療提供体制において求められる業務の在り方を見据えた歯科衛生士の配置をはじめ、卒前卒後のシームレスな人材育成、ならびに歯科衛生士の活用基盤の強化などを含む質の高い人材確保対策のさらなる推進が急務となっております。

これらのことから、令和6年度予算・制度などに関しまして、以下の5項目の要望について格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

要望事項

1. 医科歯科連携における口腔健康管理の推進に関すること
2. 卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制の構築に関すること
3. 歯科衛生士の人材確保に関すること
4. 行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関すること
5. 歯科衛生士の処遇改善に関すること

1. 医科歯科連携における口腔健康管理の推進に関すること

(1) 回復期病院における「口腔健康管理」提供体制の整備

周術期等口腔機能管理の保険収載により、周術期の口腔機能管理の重要性が周知され、急性期病院における多職種と連携した歯科衛生士の役割が急速に広がっています。その一方で、回復期病院における口腔健康管理の位置づけは立ち後れており、歯科専門職が配置されている病院は非常に少なく、多くの患者において口腔機能の問題による栄養状態の不良が認められます。口腔の問題を早期に発見し、リハビリテーションによって口腔機能の回復を図ることは、栄養状態を改善し(Community Dent Oral Epidemiol. 2013;41(2):173-181)、日常生活動作の回復や自宅への退院を促進する(Geriatr Gerontol Int. 2019;19:189-196)ことに役立ちます。しかし、回復期病院における口腔健康管理の位置づけが弱いために、口腔の問題が看過され、栄養状態、全身状態が改善せず、自宅に戻れないという問題が生じています。このような状態を改善するため、回復期病院における口腔健康管理の提供体制を整備するとともに、歯科衛生士による口腔健康管理実施に対する評価として当該業務が保険収載されることを要望します。

2. 卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制の構築に関すること

将来にわたる歯科医療提供体制において、質の高い歯科保健医療サービスを安定的に確保するためには、歯科衛生士教育と卒後研修との有機的な連携を図り、シームレスな人材育成のための教育研修体制を実現することが重要です。

(1) 歯科衛生士養成所指導ガイドライン改訂に関する検討委員会の設置

少子高齢化の急速な進展に伴い、歯科衛生士業務は高度化かつ多様化しており、新たな歯科医療提供体制を踏まえた教育内容の見直しが喫緊の課題となっています。しかしながら、歯科衛生士養成所指導ガイドラインは平成16年以降改訂されていないため、その再検討が求められています。歯科衛生士の卒前教育は、3年制の専門学校、短期大学、他の国家資格と同時に教育される4年制大学、歯科衛生学単科の4年制大学など、様々な教育体制で実施されています。多様な教育体制のベースとなる教育の指導ガイドラインの標準化のために、厚生労働省において**歯科衛生士養成所指導ガイドライン改訂のための検討委員会を設置**することを要望します。また、臨地実習(臨床実習を含む)の内容も養成校による差が非常に大きく、十分な臨床実践力を養えるものとなっていない状況が多く見受けられることから、**基本的な臨床実践力を身につけられる実習となるよう、ガイドラインで実習内容の具体的基準を設定**することを要望します。

また、4年制大学の増加をふまえ、大学教育における人材育成の目標を明確にするため、モデルコアカリキュラム、コアコンピテンシー(卒業時の実践能力)の設定を急ぐ必要があり、現在検討が進められています。検討中の**大学教育カリキュラムと養成所指導ガイドラインとの整合性、一貫性**を図ることが重要であり、相互に連携した委員会を構成し、検討がなされることを要望します。

(2) 学生の臨床実践力強化のための臨地実習指導者養成への技術修練設備の活用

臨地実習(臨床実習を含む)では、歯科診療の現場に学生が入り、歯科衛生士の立場で現場を体験します。この学習プロセスでは、学内で学んだ知識・技術・態度の統合を図りつつ、歯科衛生士として実践に必要な能力の修得を目指します。また、患者との信頼関係構築および専門職としての役割・責務への深い理解は、実際に患者と対峙し、自らが歯科衛生士の立場で行動する臨地実習で育まれます。このように臨床実践力を培い強化するための臨地実習は極めて重要ですが、学習者への指導法や教育について学んだうえで実習指導に当たっている臨地実習指導者は少ない状況であり、臨地実習指導者の養成は急務となっています。

臨地実習指導者の養成を進めるには、高度な教育力を養成できる研修の場を確保することが必要です。当面、臨地実習指導者養成の場として、歯科衛生士の新人・復職支援のために厚生労働省補助事業により設置された東京医科歯科大学、広島大学、大阪歯科大学、愛知学院大学などの技術修練設備を活用できるよう整備することを要望します(図1参照)。

臨床スキルに
“自信をもって働きたい!” 皆さん

下記の4センターで
スキルアップをサポートします

歯科衛生士技術修練実施団体

東京医科歯科大学病院
歯科衛生士総合研修センター
〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-46
TEL: 03-5803-4349 (平日9~17時)
E-mail: tmdu-dhtc@m1.tmd.ac.jp

広島大学歯学部
歯科衛生士教育研修センター
【お問い合わせ先】
〒734-8553
広島市南区1-2-3 研究棟B-1階
平日9:00~17:00
E-mail: dhtc@dent.hiroshima-u.ac.jp
TEL: 082-257-1953
FAX: 082-257-5945

大阪歯科大学 (附属病院内)
歯科衛生士研修センター
学びたい場所のみを自由に選択して受講できます
A 専門基礎研修 (12コマ) 履修・卒業
B 自己学習研修 (履修・卒業) +
C 臨床研修 (履修・卒業)

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目5番17号
(JR本線、地下鉄谷町線「天満橋駅」徒歩5分)
TEL 06-6910-1573 FAX 06-6910-1016
受付時間: 9:00~17:00
dent-h-center@cc.osaka-dent.ac.jp
https://www.osaka-dent.ac.jp/dhtc-center.html

愛知学院大学 短期大学部
歯科衛生士リカレント研修センター
〒464-8050 名古屋市千種区徳元町1丁目100番
(愛知学院大学 徳元キャンパス: 地下鉄東山線「徳元駅」から徒歩5分)
TEL 052-751-2561 (受付時間: 平日9:00~16:30)
ご質問・ご相談はウェブサイト内、専用フォームより
お問い合わせください。URL: https://www.aic.ac.jp/18/1804.html

図1 厚生労働省補助事業による
歯科衛生士技術修練設備
(令和5年3月現在)

(3) 基本的臨床実践力修得に向けた新人研修制度の導入

新卒者では、卒前教育と臨床現場との間に大きなギャップを感じ、自信喪失から早期離職に至るケースが多く認められます。新型コロナウイルス感染拡大の影響で十分な臨地実習を行えなかった時期の卒業生では、とりわけ臨床スキルに不安を感じる者が多くなっています。卒後の新人研修を必須化し、基本的臨床スキルの修得を保証することは、このような新卒者の不安を解消し、リアリティショックを防ぐ対策として、有効であるだけでなく、より質の高い歯科保健サービスの提供につながると考えます。そのため、歯科衛生士の新人研修を必須とする制度の導入、当面新人研修を努力義務とすることを要望します。

全国的な新人研修制度を導入するにあたっては、統一化された新人向けの研修プログラムを策定するとともに、すべての都道府県で実施場所と研修指導者を確保することが不可欠です。現在、日本歯科衛生士会では新人研修で修得すべきコンピテンシーの検討を進めており、加えて、全国の都道府県歯科衛生士会では、歯科衛生士のスキルアップのための様々な生涯研修を実施し、研修場所の確保と研修指導者の育成に努めています。これらの検討内容、研修制度を利用、強化することで、スムーズに全国的な新人研修制度の実施につなげることが可能となります。そこで、日本歯科衛生士会における新人研修プログラムの確立とそれに基づく各都道府県における新人研修実施に向けての予算的支援を要望します。

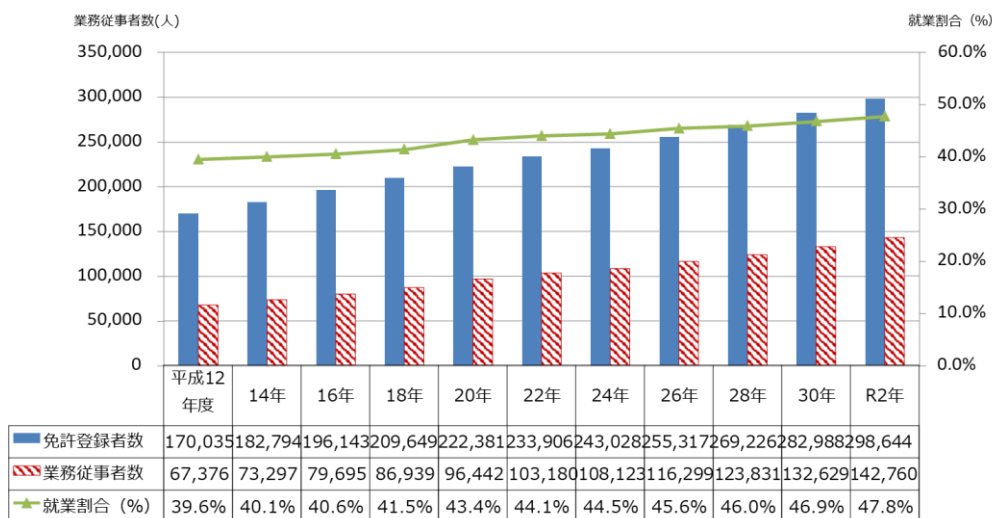
3. 歯科衛生士の人材確保に関すること

全国歯科衛生士教育協議会の調査では、令和3年度歯科衛生士養成校卒業時の就職者に対する求人倍率は22.6倍(歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告、令和4年6月、図2参照)、令和4年度では23.3倍と、平成26年度以降最も高い水準となっており、恒常的な歯科衛生士の供給不足が示されています。人材不足の要因として離職率の高さと潜在歯科衛生士の多さ(衛生行政報告例・歯科医療振興財団調べ、図3参照)が挙げられます。歯科衛生士養成校卒業生を対象とした調査でも、就業率68.3%、転職経験者は70.2%で、早期離職が顕在化していることが報告されています(歯科衛生士及び歯科技工士の就業状況等に基づく安定供給方策に関する研究,地域医療基盤開発推進研究事業、平成31年)。したがって、歯科衛生士の人材確保には、育児・介護等によって離職していた歯科衛生士の復職支援および新人歯科衛生士の早期離職防止を推進することが不可欠です。

加えて、復職支援および離職防止にあたっては、就労継続に向けた相談体制を整備することが重要です。しかし、転職・復職を考えている歯科衛生士が相談できる専門的窓口がほとんどないため、ハローワークや民間求人サイトに頼らざるを得ない状況となっています。とりわけ、歯科衛生士の大多数が勤務する歯科診療所においては、職種間で情報交流することが難しく、就労上の問題を相談できないまま、離職につながるが多い状況がみられます。このような状況を改善するため、歯科衛生士独自の就労支援システムを構築し、生涯働き続けられる環境を整備することが必要です。



図2 就職者数, 求人人数, 求人倍率の推移(平成26年度から令和3年度)



(出典：衛生行政報告例、歯科医療振興財団調べ)

図3 歯科衛生士の免許登録者数、業務従事者数の年次推移

(1) 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業の継続と拡充

歯科衛生士の就業者数を確保していくためには、地域における復職支援・離職防止の取組みが不可欠であり、都道府県歯科衛生士会が核となって進める必要があります。しかし、令和5年度の復職支援・離職防止に関する都道府県歯科衛生士会の事業計画に示すように(表1参照)、最も取組みの多い離職防止事業の講義・セミナーにおいても、実施予定は半数に達していない状況です。事業の必要性を充分認識しながらも、実施できていない主な要因として、人材と予算の不足が挙げられています。とりわけ研修事業の中核を担う研修指導人材の育成は重要な課題であり、令和6年度においても厚生労働省「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」を継続・拡充することを要望します。

表1 47都道府県歯科衛生士会の復職支援・離職防止にかかわる令和5年度事業計画

事業等	実施内容	実施計画のある会の数 (%)
復職支援事業	講義・セミナー	14 (29.8)
	実技演習	12 (25.5)
離職防止事業	講義・セミナー	20 (42.6)
	実技演習	14 (29.8)
事業のための予算援助	行政より	9 (19.1)
	歯科医師会より	7 (14.9)

研修のなかでも、実技演習はスキルを向上させ、自信をもって職務にあたるようになるための重要なトレーニングですが、研修の場確保の困難さが地域歯科衛生士会の大きな課題として挙げられています。実技研修の場を確保するために、「歯科衛生士技術修練部門の整備と運営事業」による技術修練への補助事業により4か所の大学病院に設置され、継続されている技術修練の場に対し、事業開始5年経過後も補助を継続することを強く希望します。また、修練の場が4拠点のみでは、技術修練を望んでも通

うことが難しい者が多くいる状況であり、全国的に技術修練を受けられるよう環境を整備することが求められます。そのため、全国の歯学部を有する大学ならびに歯科衛生士養成機関と連携して、技術修練の場を確保し、研修機会を広く提供していくことが必要です。人材確保に向けた**復職支援・離職防止事業**を全国くまなく実施できる環境を整えるため、全国の歯学系教育機関との連携促進ならびに全国の歯科衛生士会における研修拡充のための予算的支援を要望します。

(2) 就労支援のための相談窓口設置と相談専門員配置の促進

歯科衛生士の人材確保には、上記の事業に加え、就労継続へのきめ細かいサポートが重要であり、転職・復職を考えている歯科衛生士が気軽に相談でき、就労継続につなぐための専門的相談窓口が不可欠です。しかし、日本歯科衛生士会の令和5年度調査では、47都道府県歯科衛生士会のうち就労支援のための窓口を設置しているのは9都府県(19%)のみで、ほとんどの会においては、人員および予算の不足から(図4参照)設置できておりません。設置している会においても、予算の問題から専任の相談員を配置できず、十分な対応がとれないところが多い状況です。

寄せられる相談内容として、転職、復職、勤務条件、業務内容が多いことから、専門的知識をもち適切なアドバイスを提供できる相談員の配置が歯科衛生士の就労継続のために重要であることが示されています。全国の歯科衛生士会における就労支援のための相談窓口の設置、ならびに労務管理やマネジメントの知識を有し、それぞれの歯科衛生士のニーズに即した適切なアドバイスができる相談専門員の配置を促進することを要望します。

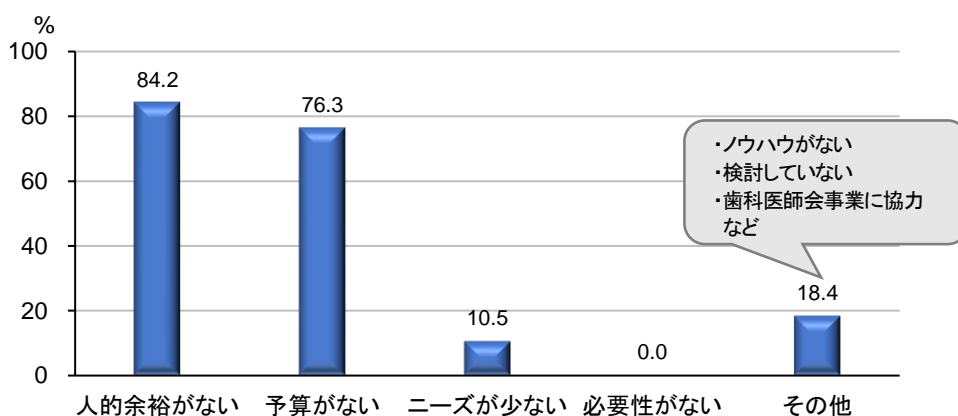


図4 38都道府県歯科衛生士会において相談窓口を設置していない理由(複数回答)

4. 行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関すること

2011年に制定された歯科口腔保健の推進に関する法律が目標とする全世代を対象とした歯科口腔保健の推進にあたっては、保健、医療、教育、労働衛生、社会福祉等の関連施策と有機的な連携を図り、総合的に展開することが求められています。また、今年度告示される歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第二次)には、国及び地方自治体における歯科口腔保健を担う人材の確保・育成に関する事項

が明記されたこともあり、全ての国民に対し、地域格差無く歯科口腔保健サービスを提供するために、国、都道府県、市町村のそれぞれに歯科衛生士が適正に配置されることが必要です。さらに、行政職として歯科口腔保健に関する政策策定を担う歯科衛生士は、事業の継続性および人材育成の観点からも常勤として配置されることが重要です。

(1) 厚生労働省医政局歯科保健課への歯科衛生士の技官配置

歯科衛生士の就業者数は令和 2 年 12 月末現在、142,760 人(衛生行政報告例)となっており、毎年 7 千人前後の新人歯科衛生士が誕生し、歯科専門職の中で最多を占める職種となっています。また、歯科衛生士の 4 年制大学教育が開始されて 19 年が経過した現在、大学は 14 校となり、令和 5 年 3 月現在大卒者は延べ 3,207 名に上っています。さらに大学院教育も拡がりを見せ、修士号や博士号を有する高学歴の歯科衛生士が増加しています。今後、国民の生涯を通じた歯科口腔保健を推進する上で、保健、医療、福祉等の多職種と連携・協働した歯科衛生士の役割および関連施策が一層重要となっており、国は社会情勢に応じた関連法に基づく指針やガイドラインの提示や、歯科衛生士および関係職種の人材育成を担うことから、**厚生労働技官として、歯科衛生士職員の配置を要望します。**

なお、その人材については、下記の要件を満たすことを想定しています。

- 1 歯科衛生士免許を取得している者
- 2 歯科衛生士養成施設である大学を卒業している者
- 3 口腔衛生関連の修士以上の学位を有する者
- 4 口腔衛生にかかる行政の業務に理解を示し、意欲のある者

(2) 地方自治体への歯科衛生士の配置促進

人生 100 年時代を迎えた今日、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が大きな課題となっており、地方自治体における歯科衛生士の役割として、エビデンスに基づいた歯科口腔保健に関する情報提供や、オーラルフレイル予防、全身疾患重症化予防のための歯科口腔保健の向上が一層重要となっています。

歯科衛生士は、市町村では多職種と連携した直接的な歯科保健指導など住民に身近なサービスを提供し、都道府県では市町村に対し広域的かつ専門的な支援を行う等、住民への歯科保健事業の企画・施策を専門的視点から効果的に展開する役割を担っています。全国のあらゆる地域で、歯科口腔保健と保健・医療・福祉等の地域連携を円滑に展開し、地域間における口腔健康格差を縮小するためにも、全ての自治体への歯科衛生士の配置が求められます。しかし、地方自治体に勤務する常勤歯科衛生士は、市町村保健センター数 2,420 [令和 5 年 4 月現在 000762007.pdf (mhlw.go.jp)]と保健所数 591 [令和 5 年 4 月現在 000765311.pdf (mhlw.go.jp)]を合わせて全国 3,011 施設に対して 718 人、割合は 24%です。このことから、市町村保健センター、保健所における歯科衛生士は、十分な数が配置されているといえない状況にあります。**健康寿命の延伸と健康格差解消のために、全ての自治体への常勤歯科衛生士の配置促進を要望します。**

また、現在歯科口腔保健推進事業として、都道府県、保健所設置市、特別区への口腔保健支援センターの設置が進められていますが、令和 3 年度における都道府県の設置は 68%、保健所設置市・特別区

では 17%という状況であり、未だ不十分な状況にあります。加えて、口腔保健支援センター配置の歯科衛生士は会計年度任用職員であることが多い状況があり、事業の持続性や、人材育成という点で課題があります。そこで、口腔保健支援センターの設置およびセンターへの常勤歯科衛生士配置の一層の促進を要望します。

5. 歯科衛生士の処遇改善に関すること

近年、歯科衛生士業務の多様化・高度化に伴って、歯科衛生士養成教育は高度化しており、現在では 4 年制大学が 14 校に達し、大卒者が年々増加していることから、学歴を考慮した処遇改善が求められています。歯科衛生士の離職原因として、給与面の待遇が 58.4%を占めることが報告されていることから（口腔衛生会誌 2021;71:72-80）、待遇改善が安定的人材確保には不可欠です。

(1) 人事院規則九一八に定める歯科衛生士初任給基準の改定

総合病院や行政などにおける大卒者の活躍が広がり、多職種との連携が進んでいるにもかかわらず、人事院規則九一八に定める歯科衛生士初任給基準は、上限が短大 3 年卒の設定のままとなっております。医療職俸給表(二)が適用される栄養士、臨床検査技師、理学療法士など、他の医療職では大学卒の初任給が設定されているのに比し、歯科衛生士は立ち遅れた状況にあります(表2参照)。国家公務員の歯科衛生士初任給の設定は、広く他の職域における基準になるものであり、歯科衛生士の処遇改善につながると考えます。そのため、人事院規則九一八に定める医療職俸給表(二)初任給基準表の歯科衛生士の基準に大学卒を加えることを要望します。

表 2 医療職俸給表(二)初任給基準表

職 種	学歴免許等	初任給
薬剤師	大学 6 卒	2 級 1 5 号俸
	大学卒	2 級 1 号俸
栄養士 衛生検査技師	大学卒	2 級 1 号俸
	短大卒	1 級 1 1 号俸
診療放射線技師 臨床検査技師 臨床工学技士 理学療法士 作業療法士 視能訓練士 言語聴覚士	大学卒	2 級 1 号俸
	短大 3 卒	1 級 1 7 号俸
	短大 3 卒	1 級 1 7 号俸
	短大 2 卒	1 級 1 1 号俸
	高校専攻科卒	1 級 7 号俸
	短大 3 卒	1 級 1 7 号俸
	短大 2 卒	1 級 1 1 号俸
歯科技工士	短大 3 卒	1 級 1 7 号俸
	短大 2 卒	1 級 1 1 号俸

要望事項

1. 医科歯科連携における口腔健康管理の推進に関すること
 - (1) 回復期病院における「口腔健康管理」提供体制の整備

2. 卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制の構築に関すること
 - (1) 歯科衛生士養成所指導ガイドライン改訂に関する検討委員会の設置
 - (2) 学生の臨床実践力強化のための臨地実習指導者養成への技術修練設備の活用
 - (3) 基本的臨床実践力修得に向けた新人研修制度の導入

3. 歯科衛生士の人材確保に関すること
 - (1) 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業の継続と拡充
 - (2) 就労支援のための相談窓口設置と相談専門員配置の促進

4. 行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関すること
 - (1) 厚生労働省医政局歯科保健課への歯科衛生士の技官配置
 - (2) 地方自治体への歯科衛生士の配置促進

5. 歯科衛生士の処遇改善に関すること
 - (1) 人事院規則九一八に定める歯科衛生士初任給基準の改定

参考資料 12

加入団体及び後援協力事業

加入団体

公益財団法人 8020 推進財団
一般社団法人日本口腔衛生学会
日本公衆衛生学会
日本歯科医療管理学会
歯科保健医療国際協力協議会 (JAICOH)
子どもの歯を守る会
NPO 法人日本むし歯予防フッ素推進会議
公益財団法人公益法人協会
一般社団法人日本歯学系学会協議会
公益財団法人国際医療技術財団
社会歯科学会
歯学系社会保険委員会連合
ジョイント 4 実行委員会

後援、協力事業

21 世紀における国民健康づくり運動
歯と口の健康週間
令和 5 年度「医療安全推進週間」
第 81 回全国小学生歯みがき大会
令和 5 年度「健やか親子 21-8020 の里賞- (ロッセ賞)」
第 87 回全国学校歯科保健研究大会
公益社団法人日本歯科医師会 厚生労働省医療関係者研修費等補助金
災害医療チーム等養成支援事業「令和 5 年度災害歯科保健医療チーム養成支援事業」
世界口腔保健学術大会記念「第 28 回口腔保健シンポジウム」
公益財団法人 8020 推進財団学術集会「第 21 回フォーラム 8020」
ライオン歯科衛生研究所 予防歯科セミナー
その他の後援
公益法人 6 件 一般法人 9 件 大学 4 件 その他 18 件

